

いっしょに語ろう、もっと話そう。

2010

信頼

Vol. 56

中部大学後援会会報



「特集」中部大学白書2010

中部大学の

魅力を

徹底紹介！

座談会

新教育改革スタート！

充実した

就職支援体制を

目指して



| 特集 | 中部大学白書2010 中部大学の魅力を 徹底紹介!

文理融合型の学びを 実現する総合大学

中部地域における中核的な総合大学として、7学部27学科、4研究科12専攻を擁している中部大学。工学部の単科大学から出発した本学は、時代の流れに先駆けた学問領域の拡充に力を注いできました。現在では自然、社会、人文科学分野におけるほとんどの学問を備えるに至っています。学生数は、学部生と大学院生を合わせると約9700名を数え、開学以来、最高の人数を達成。18歳人口が減少し、多くの大学で定員割れを起こしている中、本学は勝ち組の大学としてさらに力を伸ばしていくべく、非常に元気のある大学をつくりつつあります。

教員数については、専任の教員は約440名。教員一人当たりの学生数が少ないというだけでなく、多様な個性を伸ばす教育、いわゆる一人ひとりの潜在能力を、教員と学生が一緒に伸びていく教育を進めています。では具体的に目指す教育とは何か。本学の教育の原点、それは70年前の学園創立時に定められた建学の精神「不言実行、あてになる

多くの学生が会員企業へ就職 「中部大学幸友会」

幸友会とは、東海地区を中心に大手優良企業約780社と個人435人が会員の中部大学の後援組織です。会員企業へ毎年多くの学生が就職するなど、人材採用時において強気に連携をはかっていただいています。現在では、中部大生のための就職ガイドとして、企業ガイドの発刊や幸友会就職ナビの作成、学内企業説明会への協賛。さらに、中部大学音楽祭や中部大学キャンパスコンサートへ後援するなど、文化・教養プログラムもおこなっています。



学生が人事担当者と直接話せる「学内企業説明会」。

まもなく60,000人を突破する同窓生 母校の発展をバックアップ



中部大学同窓会が主催でおこなっている「卒業生と就職を語る会」。

2010年4月、生命健康科学部へ新たに3学科を加えてスタートした中部大学。時代の流れはスピードを増し、大学を取り巻く環境も変化する中、中部大学は、何を目指し、どのように進化を遂げているのでしょうか。今回の特集では、本学の現状と魅力に迫りました。

人間」の育成にあります。この精神をより具体化するために「基本理念、使命、目的」を定め、それらのもと、豊かな教養とともに自立心と公益心を持ち、広く国際的視野から物事を考え、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を世に送り出しています。その教育を実現するための基本戦略の一つにある、継続的な改善・改革の実施として、今まさに、新しい時代に適応した人材を養成するための「新教育改革」(詳細は7ページの座談会を参照)に取り組んでいるところです。

多彩な課外活動と 充実の海外留学制度

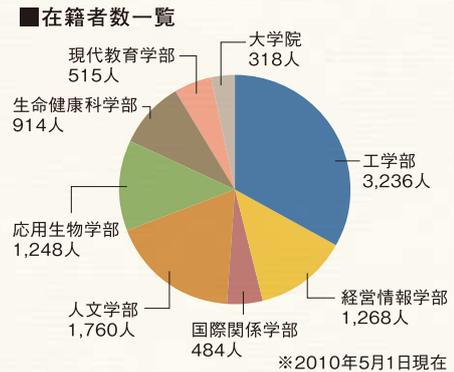
また本学では、学生を主体とした活動も非常に盛んです。たとえば学生の学びの好奇心を教員がサポートする活動「チャレンジ・サイト」では、低アレルギ―食品の開発やロボットコンテストに参加できるロボットの開発、ひまわりの種を使ったバイオマス燃料の研究など、さまざまなプロジェクトを通して学生がスキルアップをはかっています。また、ボランティア活動として、ペットボトルのキャップを

世界12カ国21大学との交流をサポート



毎日約9,700人の学生が集う春日井キャンパス

機械設計技術者、医療のスペシャリスト、テレビディレクター、小学校の先生…。多彩な夢を持つ個性豊かな学生たちがワンキャンパスに集っています。



正課授業では得られない体験の数々 ※2010年6月30日現在

運動系公認クラブ

33団体 (参加人数:1,196人)

アーチェリー部	少林寺拳法部	フライングディスククラブ
合気道部	準硬式野球部	ラグビー部
アメリカンフットボール部	水泳部	ラクロクラブ
アングリング部	スキー競技部	陸上競技部
空手道部	スノーボードクラブ	ローンテニス部
基礎スキー部	ソフトボール部	
弓道部	卓球部	
剣道部	チアリーダー	
硬式野球部	トライアスロン部	
ゴルフ部	軟式庭球部	
サイクリング部	バスケットボール部	
サッカー部	バドミントン部	
自動車部	バレーボール部	
柔道部	ハンドボール部	

文化系公認クラブ

27団体 (参加人数:901人)

E.S.S.	鉄道研究会
映画研究会	天文研究会
演劇部	パーソナルコンピュータ研究会
会計学研究会	美術部
管弦楽団	文芸研究会
軽音楽部	放送研究会
建築研究会	ボーカル部
混声合唱団	マルチメディアコミュニケーション
茶道部	漫画研究会
シミュレーション研究会	マンドリンクラブ
写真部	無線部
手話サークル	ユースホステルクラブ
将棋部	ユネスコクラブ
シンフォニックバンド	

その他の公認団体

5団体 (参加人数:356人)

大学祭実行委員会
クラブ運営委員会
夏季課外教育活動リーダー
C.U.P. (Clean Up Project in Chubu Univ.)
中部大学ボランティア・NPOセンター



ブログで各クラブの活動がご覧いただけます。

集めて途上国へワクチンを送る活動を支援する社会貢献もおこなっています。キャップの回収BOXがキャンパスのさまざまな場所に置かれているのも、この活動が盛んである象徴的な風景といえるかもしれません。これらの活動に加えて、留学を積極的に推進していることも、本学の特徴の一つに挙げられます。現在は、世界12カ国21大学と交流し、海外研修プログラムと派遣留学プログラムを実施しています。また、「役立つ英語を楽しく修得する」ことをモットーとした本学独自の英語教育プログラム「PASEO」では、授業はすべて英語でおこなうなど、留学への意欲を強力にサポート。その結果、海外への留学生派遣人数大学ランキングでは、毎年全国トップ10に入る実績を残しています。

地域を代表する「知の拠点」として

総合大学として本学は、国、団体、企業などからさまざまな資金をいただいでしっかり研究にも取り組んでいます。たとえば、わが国の学術を振興するために、あらゆる学問分



学生の就職を支援する拠点「キャリアセンター」。

学生のほぼ全員が希望通りの就職を実現

単に就職に関して指導するだけでなく、「生き方」と「働くこと」についてじっくり考えてもらうように支援しているのが、本学のキャリアセンターです。一人ひとり違う就職に対する価値観や事情に沿った指導を心掛け、高い就職率を実現しています。また、「就職しなくてもよいと考えている学生はいない」という考え方で、全学生の就職活動をきめ細やかにサポート。学生全員の進路把握を、教職員一体となって全学支援体制で実現しています。

就職率

92.9%

※2010年4月15日集計

外部機関の認証評価に中部大学が認定

2007年度に、本学は日本高等教育評価機構(JIHEE)が定める大学評価基準をすべて満たしていると認定されました。また同年度に、工学部の3学科が、日本技術者教育認定機構(JABEE)から、教育活動の品質が満足すべきレベルにあり、技術者として活動するために必要最低限度の知識や能力の養成に成功していることの専門認定を受けました。これらの評価を踏まえ、さらなる教育研究の充実・発展に取り組んでいます。



研究支援センターが産官学連携を先導

文理融合の総合大学のアドバンテージを得て、技術支援をはじめ経済活動や社会環境問題など幅広い課題に対応しています。



野で独創的・先駆的な研究を進展させることを目的とする文部科学省による研究助成費「科学研究費補助金」の額は、中部圏の私立大学では上位にランキング。これは、各教員・研究者の研究が公に認められていることの証明でもあります。また今年度は、日刊工業新聞社が主催した学生による新事業提案コンテストにおいて、情報工学科の学生による研究テーマ「携帯電話を用いた居眠り運転防止システム」が「CVG(キャンパスベンチャーグランプリ)中部ニューテックノロジー大賞」を受賞、全国大会では特別賞・TDK賞を受賞しました。このようにさまざまな成果や実績を生み出している昨今、3月には生命健康科学部の卒業生を初めて社会へ輩出しました。中でも看護師国家試験には、保健看護学科の受験者75名全員が合格、また臨床検査技師国家試験を受験した生命医学科の16名も全員が合格し、合格率100%を達成しました。

さて来年度には、新たに2学科を開設する予定の中部大学(詳細は54ページのニュースを参照)。さまざまな取り組みを次ページ以降で紹介していきます。

大学と保護者の皆さまとの パイプ役として各事業を推進したい。

この度、中部大学後援会評議員会において会長に推挙され、会長に就任いたしました青山です。謹んでご挨拶を申し上げます。

副会長を2年間務めさせていただき、大学および後援会が学生をバックアップする姿勢に力強さを感じていたことから、改めて会長職の責任の重さを痛感しております。さて、昨今の厳しい社会状況のなか、保護者の皆さまにとりましては、やはり就職について気になるところではないでしょうか。もちろん、就職活動におけるサポートも重要な後援会事業の一つです。それに加え、学生ご本人においては、学びたいことや興味のあることを幅広く、そしてより深く学んでほしいとも願っています。そのための環境整備、あるいは大学のサポート役として尽力するとともに、大学の方針や活動を保護者の皆さまへ報告するなど、大学と保護者の皆さまとのパイプ役として各事業を推進してまいります。

Greetings of the Chairperson



と考えております。

また、ご子息・ご息女に興味や関心を持つていただくためのきっかけをつくることも、後援会としての役割だと感じております。毎年秋に開催しております「父母との集い」は、学生生活を知ることのできる絶好の機会です。さらに、年に一度発行しております後援会会報「信頼」も、大学の近況を知るツールとして、ぜひご一読をおすすめいたします。引き続き、会員の皆さまには、後援会の活動をご理解いただき、積極的なご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

時代を牽引する若者たちを 保護者の皆様とともに育てたい。

中部大学後援会の皆さまにおかれましては、日頃より大学の教育・研究活動に多大なご協力・ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

大学は、次代を見据えた教育改革を教員一丸となつて熱心に進めております。その一つとして質の高い少人数教育をおこない、1年次の秋からは職業研究をはじめとするキャリア教育を実施します。また、大学の真の価値は研究することにあります。研究は学生の知力を育て、夢を膨らませる非常に重要な営みです。なかでも現場での学びを活かし、社会に貢献できる人材を育成するために、本学では産官学連携による研究活動を積極的に展開しています。この度、こうした産官学連携の成果を国際的な視野でさらに発展させる機会をいただき、上海万博で出展することとなりました。万博という国際舞台の場で、一大学が出展するのは初めてのことです。

Greetings of the President



は、今後の人生を切り開くための基本となるべきものです。大学における学生の学習・生活については厳しく、ときにやさしく指導し、見守っていきたいと思います。しかし、家庭生活に関してはやはり保護者の皆さま方にお願ひするしかありません。保護者の皆さまは本学の学外における客員教授であります。学内の教授陣と学外の客員教授である皆さま方との二人三脚でこそ、日本を背負って立つ若者を二回りも二回りも大きく育てることができると思っています。今後とも家庭生活におけるご指導、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

CONTENTS

信頼

Vol. 56



表紙 / 現代教育学部 幼児教育学科2年 佐古 有希奈さん(左)
現代教育学部 幼児教育学科2年 辻築 諒さん(右)

特集：中部大学白書2010

中部大学の魅力を徹底紹介!

P.01

座談会

新教育改革スタート!

充実した就職支援体制を目指して

P.07

大学を挙げてバックアップ
就職活動支援

P.13

先輩に聞きました。
内定&進路決定までの道のり

P.17

Close Up
クラブ&サークル

P.19

TOPICS「CVG受賞」

P.23

YEAR ALBUM 2009～2010

P.24

学部紹介

P.28

ボランティア・NPOセンター活動報告

P.32

チャレンジ・サイト活動報告



P.35

学生生活バックアップ

P.37

父母インタビュー

やっぱり気になるわが子のこと

P.39

学生インタビュー

両親に贈る、感謝の手紙

P.45

平成22年度中部大学後援会

「役員会・評議員会」報告

平成21年度事業報告 / 平成22年度事業計画 /
平成22年度後援会役員・評議員名簿 / 後援会会則

P.47

Information

ご父母の皆さまもぜひご利用ください。

P.50

My Campus Life

P.51

最新ニュース

News & Topics

P.53

全学をあげての
新たな教育づくり。

三浦 それでは、まず後藤副学
長から「新教育改革」の基本的な
考え方と概要をご説明願います。

後藤 中部大学は7学部27学
科の総合大学となり、近年発展
を続けている本学の状況や社会
全体の動きを考慮しながら新教
育改革を進めている最中です。

今、改革を進める目的は大きく
三つあります。一つ目は、建学の精
神、基本理念・使命・目的、これ
らを実現すること。建学の精神
の「あてになる人間」の育成を、
教育の中でどうやって実現する
かを考えていかななくてはなりま
せん。それから近年の学部増設
にともない、今の7学部体制に対
応できる教育体制をつくらなく
てはならないのが二つ目です。も
う一つは、質的、量的にも十分な
学生を安定的に確保することが
必要です。これは、大学全体とし
て取り組んでいます。今後、厳
しい状況の中で継続的にやってい
かななくてはなりません。

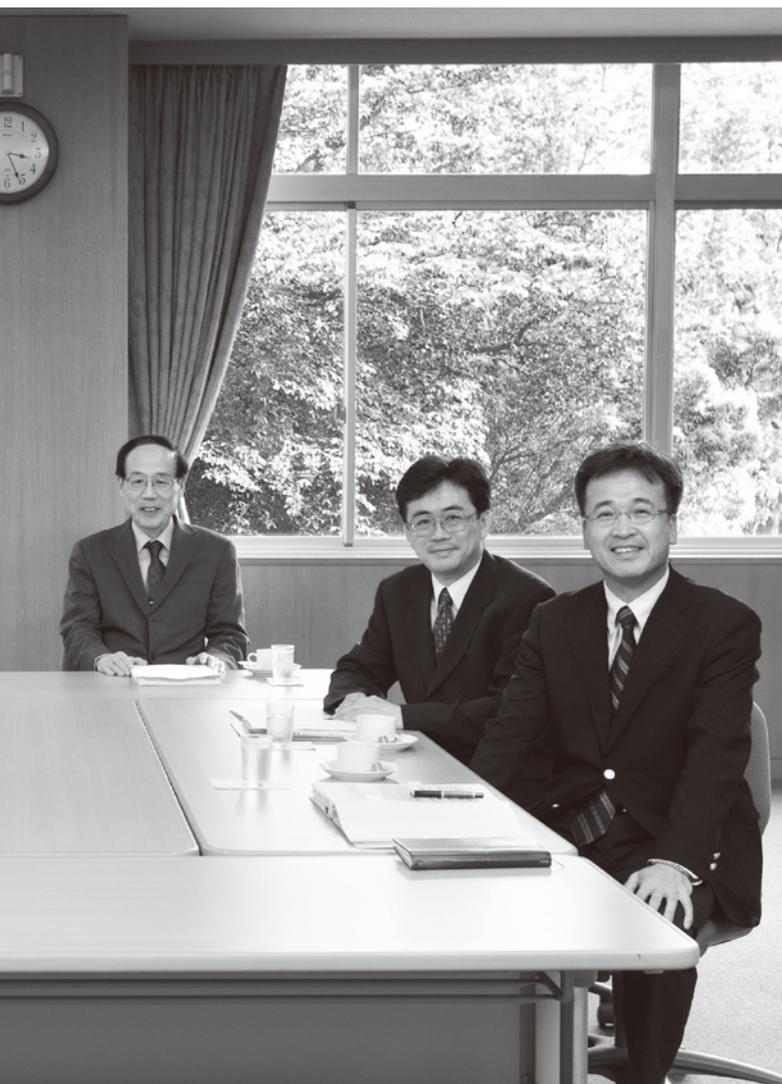
三浦 もう少し具体的な課題で

新教育改革
スタート!

充実した
座談会

就職支援体制を

目指して



言いますといかがでしょうか。

後藤 学生の意欲の差や学力格
差が大きいことに対応する必要
があります。また、教員の教育力
を高めることや教育内容や教育
方法の改善も必要です。全学共
通教育に関しては、まず7つの教
育群をつくり、それぞれ対して
授業科目をつくっています。その
教育群の一つが「初年次教育」で、
二つ目が「キャリア教育」です。こ
の二つは、ただ知識量を増やすだ
けではなく、学生たちに自らの人
生や将来についてを考えさせ、そ
れを礎として就職のことも一から
考えさせる教育です。それから三
つ目が「スキル教育」。これは英
語、日本語、情報関連のスキルで、
中でも今回の教育改革では日本
語力を目玉の一つとして、全学的
に強化していきます。そのほかの
教育群を含めて全7つの教育群
を実施するための具体的な体制
を整備しているところです。

三浦 ありがとうございます。初
年次教育科目の「スタートアップ
セミナー」は今春から始まってい
ます。では次にキャリアアセンター
長に就任されました佐藤先生、

この「初年次教育」と「キャリア教育」という二つの教育群についてお話し願います。

佐藤 初年次教育科目「スタートアップセミナー」は、新入生全員を対象に全ての学部学科の教員が総出で参加しておこなわれ、オムニバス形式で授業を進行するなど、いろんな工夫があります。特に少人数でのグループワークが中心となるので、学生同士がお互いに仲間としての連携をつくっています。また、社会と学生の多様化にともない、キャリア教育を大学教育の中に組み込むことは急務ですが、キャリアセンターではそれより先んじて、本当の意味での生涯キャリアを積んでいくことの大切さについて強調してきました。そして、このたび本学独自のキャリア教育として、1年生の秋に開講する「自己開拓」というグループワーク形態の科目をつくり、その後2年生の春学期には、「社会人基礎知識」という科目も加わることになりました。これは社会生活を送る上で最低限のマナーやスキルを含め、社会人としての常識を身につ



魅力ある大学として飛躍するため、
新教育改革に取り組んでいる中部大学。
今春から、改革の一環として
新科目もスタートしています。
そこで、キャリアセンターの教職員を中心に、
昨今気になる就職支援体制について
親御さんへのアドバイスを含めて
語り合っていたいただきました。

日時●2010年5月21日(金)

場所●中部大学2号館2階・中会議室

けさせることを目的とした科目です。これら二つの教育群により、新入生は中部大学での4年間で何を学び、どんなことを身につけていかなければならないのかについて考えるときともに、自分自身の特徴を知り、自らが大学生活を通じて大きく成長することで、いかに社会に貢献していくことができるのか、ということについて考えることとなります。

三浦 では副センター長の山口先生、普段学生と接する中でのご意見をお願いします。

山口 はい。学生を見て感じるのは、皆さん真面目ということですね。授業の出席率は高く、話もよく聞き、言ったことはきちんとやる。また、就職に対しても意識が高い。今年度のインターシップ申し込み数は、過去最高でした。フリーターでいいという学生もいません。ただ、それだけで厳しい就職戦線を戦えるかというとそうではありません。気になるのは、学生の関心や人間関係の範囲が狭く、外に向かつての関心が非常に乏しいということ。しかもみんな似たような生活を送っているこ

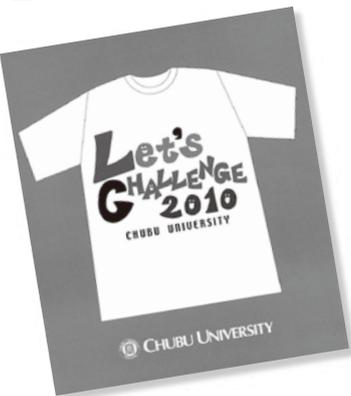


とです。授業に出て、週に何回か同じアルバイト先でアルバイトをして、決まった友人とシヨッピングに行ったり、カラオケに行ったり。それ以外は自宅でパソコンやゲーム。もしずっとそのように過ごしてしまうと、いざ就職活動でエントリーシートを書く時に、他の学生と同じようなアルバイトの経験しか書けないようになってしまったり、面接の時には、いろんな人と話す経験が乏しいため、どういう風に話せばよいかかわからず戸惑ってしまったということがあります。ですから、いつも学

生には「いろんなことを経験してほしい」と言っています。さまざまなおことにチャレンジして経験値を上げていくことが、一番就職活動に効いてくると。すると学生は「特にやりたいことがないから」と言うんです。でも周りにいろいろある。中部大学は、課外活動が非常に盛んです。「レッツチャレンジ」という小冊子を毎年学生へ配布していますが、そこには約30の課外活動が掲載してあります。資格取得対策講座、ダンスの講習会、スポーツ大会、夏山の登山、スキーキャンプ、あるいはボランティア活動も。そういったものからまず何か一つ参加してほしいと思いますね。

三浦 「レッツチャレンジ」には後援会からも援助をいただいています。では次にキャリアセンターの具体的なサポート内容を市原課長からお願いします。

市原 はい。キャリアセンターでは6つのステップで就職支援をおこなっています。まず最初にしっかり「意思決定」をすることです。次に「自分を知る」こと、それから「仕事や職業について知る」



「Let's CHALLENGE 2010」

プログラムに参加するとスタンプがもらえ、そのスタンプを5つ集めると図書カードと交換できます。この企画には後援会が協力しています。

る。すると見違えるように、入退室の練習をします。うまくできない状態をビデオ撮影して学生に見せる。その後、講師からアドバイスをもらい何回か練習し、もう一度ビデオ撮影する。

こと、そしてどんな求人が来ているか「情報収集」をして、その後「筆記試験対策・面接試験対策」をおこない、実際に「就職活動」に臨みます。本学の就職サポートプログラムは、このステップに沿う形で組み立てています。学生には、自分のことをよく知らない、うまく表現できないという傾向がありますので、「自己理解プログラム」として、3年生の夏休み前に、適職診断テストと基礎学力レベルをはかるテストを実施しています。これは一昨年から3年生は無料で受験でき、今年から2年生も対象になりました。このプログラムの大きな特徴はこの二つのアクセスメントの結果を見ながら、キャリアアカウンセラーとキャリアセンターのスタッフが、自己理解を促進するためのカウンセ

セリングを一人ひとり丁寧におこなうというところです。

三浦 そのほかにはどのようなプログラムがありますか。

市原 昨年から夏休みを利用して、3年生の希望者を対象に、恵那キャンパスの研修施設で1泊2日の「就職合宿セミナー」をはじめました。1日目は企業の人事担当者から企業が求める人材像や、採用選考試験でのポイントなどをお話いただきます。そして卒業生や4年生からは、就職活動をどのようにおこなったか、今どんな仕事をしているか、たとえば同じ営業職でもメーカーの営業と商社の営業での違いを話していただくなど、「仕事」について勉強します。それから夜には「働くこと」について学生同士でディスカッションもします。2日目には面接の入退室の練習をします。うまくできない状態をビデオ撮影して学生に見せる。その後、講師からアドバイスをもらい何回か練習し、もう一度ビデオ撮影する。



キャリアセンター長
さとう あつし
佐藤 厚先生



中部大学副学長
ごとう としお
後藤 俊夫先生



〈司会〉
中部大学学監、
後援会事務局長
みうら まさお
三浦 昌夫先生

うになった自分を見て学生の目が輝くんです。このように、非常に短期間で成長を実感できましたので、昨年は43名の参加に留まりましたが、今年は最低でも100人は連れて行きたいなと思っています。

三浦 日程は決まっていますか。

市原 8月29、30日です。宿泊棟

も増えて研修室も新しくできましたので、今年はずっと来てほしい。また秋には、就職試験対策を中心に、履歴書やエントリーシートの書き方、リクルートファクションについても実際に着て形を検討したり、人事担当者の方に来ていただいて壇上で模擬面接講座をしたりしています。それから筆記試験対策として、模擬試験の結果に自信がない学生には、夏休み、秋学期、春休みに筆記試験対策講座を開講しています。そして3年生の2月におこなう「学内企業説明会」。すべてはここに焦点を合わせています。昨年は就職希望者の約85%が参加しましたが、これを100%にしたい。また今春は1183名の就職した学生の内331名が、この説明会

に参加した企業へ就職しています。キャリアセンターとしてはこの割合をもっと増やしたいと考えています。この参加企業の多くは幸友会の会員企業様です。キャリアセンターとしてはこの学内企業説明会にいい企業をいかに集めてくるかに力を入れています。

三浦 ありがとうございます。ここで中部大学が全学を挙げて就職に取り組んでいることを、就職指導委員会や就職連絡会の存在を含めて触れていただけますか。

後藤 今、日本の社会状況は非常に厳しく、それが就職にも表れています。22年度もまだ厳しい



「幸友会就職ナビ」

中部財界人の後援組織「幸友会」。この会員企業だけの就職サイトが幸友会就職ナビです。企業の概要等を確認後、そのままエントリーできます。

という認識を持ち、大学としては全学的に就職支援に取り組もうと就職指導委員会を中心に活動しています。大学全体の就職関連情報を各学科へ周知させるとともに、各学科の進捗状況を集約するために就職指導委員会と学科主任が加わった就職連絡会、それからキャリアセンター、これらが連携をはかっていくことで成果をあげることを目指しています。

三浦 先生方は教育と研究以外に、就職指導にも真剣に取り組んでいるということですね。では今後は後援会事務局からさまざまな援助についてお話いただけますか。

松原 はい。後援会からは就職活動援助金として1000万円を超える援助をさせていただいております。使途は恵那の合宿セミナーや、資格取得支援、学内企業説明会への支援などです。もちろん大学が主に費用負担をしています。そこへプラスαとして支援させていただきます。また、課外活動援助金としてクラブ活動も応援しています。単にアルバイトをしていたということではなく、少しでも履歴書に自分の魅

力を書けるように、ぜひ学生には課外活動も頑張ってもらいたいですね。それから幸友会につきましては、東海三県を中心として780社ほど会員になっていたいただいています。大中小さまざまな企業とのパイプ、ほかの大学にはないような太いつながりを持って援助を進めています。これは中部大学の大きな財産であり、特色でもあります。

三浦 そうですね。私学の特色を活かすために、もう少し予算のプラスがほしいところへ後援会から援助していただいています。また幸友会は、このような不況にも関わらず、数多くの企業が学内企業説明会にも来てくださり本当にありがたい存在です。

**親御さんにもできる
アドバイスの数々。**

三浦 ではここで皆さんから親御さんの心構えについてアドバイスをお願いします。

山口 一つ気になるのが、筆記試験で落ちてしまい、選考の土俵にもあげてもらえないケースがある



中部大学渉外部長
まつばら のりお
松原 教雄さん



キャリアセンター課長
いちはら こうぞう
市原 幸造さん



キャリア副センター長
やまぐち なおき
山口 直樹先生

ことです。ある運動部の学生で、SPI（民間企業が開発した就職筆記試験）を受けてその後に面接をしました。企業の方には大変気に入られたそうなんです。SPIが採用基準に達していないため、特別にもう一度SPIを受けなさいと言われたと。その学生はたまたまSPIの結果が出る前に気に入ってもらえたため再度チャンスがいただけたのですが、本当ならばねられてしまう。つまりどんなにいいものを持っていても、最低限の学力水準をクリアしないと面接へ進めないのです。今は2年生から筆記試験対策がありますし、模擬試験も無料で受けられますから、しっかり活用をすすめてほしいですね。

三浦 たとえば、日本語の力を高めるためには日記を書くこともいいでしょう。新聞を毎日読んで訓練することも大事です。恋人をつくって恋文を書くとか文章がうまくなると思いますね（笑）。

佐藤 実は、早期に就職が内定する学生となかなか内定しない学生のファクターの違いを調べた全国的な調査で、友人や恋人づ

きあいがとても熱心だと答えている人は内定の獲得率が高いという結果が出ています。課外活動に非常に熱心だったこともポイントが高い。それから進路について先輩やキャリアアカウンセラーに相談したかどうかという点も内定獲得と相関があるという結果が出ています。つまり人とのつきあい、これができるかできないかが大きい。今は一人で引きこもって何でも便利にできてしまいが、やはり、狭い人間関係での交流ではなくて、4年間で輪を広げていくことが内定のプラスファクターになると思いますね。

市原 あと就職活動中に学生を孤立させないことです。これは失敗例ですが、ある学部で「就職先が決まったら卒業研究をやりましょう」と指導したんです。すると、決まらない学生は大学へ来られない。それでも就職活動を続けていけばいいのですが、だんだんと受ける会社がなくなってきた、家ですくんでいたということがあつたと。早くから就職活動を一生懸命やっても昨今のように厳しい時代はそう簡単には決まら

ない。でもそういう時こそ就職活動を一旦止めて、スーツを洗濯に出して、大学へ来てほしい。ゼミで仲間と集まり、先生にも入っていただいて、うまくいっていないことをお互い言い合ってリフレッシュする、また、大学に来ればキャリアセンターにも立ち寄れるし、キャリアセンターに来れば情報も手に入る。とにかく孤立させないように、親御さんも、いつも子どもが家にいるようなら、「大学へ行ったかどうか？就職活動もいいけど勉強も大事だぞ」と言っていたきたい。やはり真面目でおとなしい学生が多いですから、できるだけチームで、先生、親御さん、友人と一緒に就職活動をするという気持ちが大切です。

三浦 そうですね。大学へ来るということは、ただ授業を受けるだけではなく、先生とのつながり、友人とのつながりを確認する意味もあると思いますね。

佐藤 そういう意味も含めてのキャンパスですからね。物理的な建物や設備だけでなく、あらゆる活動の場がキャンパスだと思います。

松原 最近よく目にするのが、食堂でポツンと一人で昼食を食べている学生です。そういう学生は大抵イヤホンをして、パソコンなどを操作している。声をかけると、「その方が面倒くさくなくていい」と言うんですね。そうなる就先ほどの話のように、就職活動で内定が獲れないということもある気がします。

三浦 学生気質が変わりましたね。今は飲みに行く機会も少なく、パソコンなどにめり込んでいるようです。そのほかにありますか。

市原 お子様企業の企業選択に対して頭から否定しないことも大切です。聞いたこともない会社はやめなさいとは絶対に言わないでほしい。本人が選んだ企業なら、そこが何をしている会社なのか、子どものお話をよく聞いてあげてほしいんです。「どんな会社なの？今後伸びそうなの？あなたがやりたい仕事ができそうなの？」とじっくりと聞いてほしい。すると、この会社はこんなことをしていて…と話し出すかもしれませんし、子どもと会話ができると思います。もしお子様の選択肢や受けている会社について不安なら、キャリアセンターへ



う話題をベースにして会話が弾めば、もっとお子様の就職活動に對してもプラスになると思います。

三浦 私もよく言うのですが、教育は繰り返し返しのゲームだと。一度言ったからとあきらめてはいけない。やはりお父さん、お母さんは何度も繰り返し言うてほしい。それが一番効く。もちろん大学でも伝えますが、たくさんの学生を受け入れていますし、ある意味では大人扱いもしなくてはならない。そういう意味で、繰り返し言えるのは親しかいないのです。

市原 一つのモデルとして自分の経験や知っていることをお子様に自信を持って語ってほしいと思います。こうしなさいということではなく、あくまで一つのご家庭オリジナルのモデルとして、自分はどうだったということなら話ができるはず。重く考えるのではなく、気軽に自分の経験談を話すのも子どもにとっては効果的です。また就職活動の情報源としては、民間の求人情報サイトがあります。大手でも掲載数は6000社くらいで、所在地は全国に広がっています。本学に届

いている求人企業はほぼ中部圏と関東、関西圏だけで7000件くらいあります。特に中部圏で働きたい学生にとっては、大学に届いている求人情報で就職活動をした方がいいんです。あと大事なこと、卒業までに決めればいいということです。学生は間違ったメッセージを受け止めていて、非常に早期での目標設定をしています。たとえば5月中に決めないと募集が終わってしまうとか、夏休みまでには決めたいとか考えています。そして思うように決まらなくて落ち込んでいるケースがあります。

市原 親御さんに申し上げたいのは、4年生の1年間で学生は大きく成長するという事です。就職活動を通じて成長する面もあるし、大学の最終学年、社会に出る直前で考え方も変わって、そんな時に内定が出ることは結構あります。人によってそれが卒業間際だったり、年末だったり、5月の人もいます。お子様の成長度合いによって内定時期が違うことを踏まえてじっくり腰を据えてもらえるといいですね。

山口 学生にとっては求人情報サイトで会社を探しているよりも仲間と何かに一生懸命打ち込んでいる方が、長い目で見た時には絶対いい。本来学生として力をつけるべきことを懸命にやってほしいと思えるくらい、親は余裕を持つている方がいいんです。

松原 今からだって遅くない。部活に入り縦、横の関係をつくり、魅力のある人間になれば、自ずと企業だってほしくなりやすから。 **市原** ある運動部のキャプテンもすぐ内定が決まったんですが、試合のある時は試験も全部キャンセル。でも企業は待つと言ってくれるんです。会社がほしがる人間になることが大事。本来そこを目指すべきです。でも明るい元気の学生ばかりではないですから、本人に合った取り組み方を見つけてほしいですね。

佐藤 キャリアセンターの職員はどんな些細なことでもいつも親身になって相談を受けています。学生はもちろん、ご父母の皆様もご遠慮なく訪れてください。 **松原** 父母との集いでも大学会場には1500人弱の保護者の皆さまがいらっしゃいますので、そういう時にキャリアセンターがどれだけ充実しているかを見てもらうことも必要ですね。 **三浦** 先生方にもご自身が持っている情報だけで不安な時はキャリアセンターへ来てほしいですね。それでは最後に後藤先生からお願いします。 **後藤** 本学の教育上の使命は、「豊かな教養とともに自立心と公益心を持ち、広く国際的視野から物事を考え、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を世に送り出す。」とありま



大学を挙げてバックアップ

就職活動支援

2010年度の
就職サポートプログラム

※開催時期については、変更が生じる場合があります。

11月～12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
就職筆記試験対策講座	履歴書作成・面接対策講座 企業講演会 ベニングガイダンス(3回シリーズ)	個別指導 (キャリアアカウンセリング) 企業講演会 キックオフミーティング (学部・学科共催) 自己理解プログラム 適職診断テスト(キャリアアプローチ) 一般常識・基礎学力テスト	就職筆記試験対策講座 (キャリアアプローチ) 一般常識・基礎学力テスト	就職合宿セミナー	就職講演会 企業講演会 留学生向け就職ガイダンス	個別指導 (キャリアアカウンセリング) 就職講演会 企業講演会	プレ就活ガイダンス (学部・学科共催) 適職診断テスト (キャリアアプローチ) 一般常識・基礎学力テスト
●教育・訓練	●自己理解 ●教育・訓練	●意思決定 ●自己理解 ●教育・訓練	●自己理解 ●職種・仕事の研究 ●教育・訓練	●自己理解 ●教育・訓練	●自己理解 ●職種・仕事の研究 ●教育・訓練	●自己理解 ●教育・訓練	●意思決定 ●自己理解 ●職種・仕事の研究

6つのステップ

「就職活動といっても何から始めればいいのか?」と思う学生も多いはず。そこで就職活動についての基本的な情報や就活年間スケジュール、中部大生の求人検索サイトの説明など、大切な情報を伝えます。

必ず参加を プレ就活ガイダンス

何事にもチャレンジする積極性や前向きな気持ちが大事。

三菱エンジニアリング(株) 総務部 総務課 佐藤様

当社は航空宇宙関連のエンジニアリング企業。技術で社会貢献している会社です。そのため、常に技術力を高めていくことが重要ですから、採用する学生には、何事にもチャレンジする積極性を求めています。さらに事業内容を理解したうえで、当社へ入りたいという気持ちも欠かせません。そのような熱意がなければ、きっと入社してから仕事を続けていくことは難しいと思います。だからこそ前向きな姿勢を感じる学生には興味がありますね。そういう姿勢は、こちらの説明を聞く態度や日つきで伝わります。

活字だけでは伝えきれない情報を伝えることができるよい機会。

(株) 榎屋 総務部 総務課 高田様

この説明会は、多くの学生さんの目に留めていただく、あるいは当社のことをよくわかっていただくうえで、大変貴重な時間です。当社のホームページにはもちろん会社概要や事業内容などを掲載していますが、活字だけではなかなか伝えきることができません。しかし、この説明会のように顔と顔を合わせて話をすることで、お互いに見えてくることもあります。そこで得た情報や魅力によって、次のステップに進みたい、あるいは採用試験に応募したいと思うきっかけになってくれればと思います。

マニュアルに沿ったものではなく自分のカラーを素直に表現してほしい。

(株) ショクブン 総務部 吉崎様

就職活動においては、自分の「カラー」をいかに出せるかが重要です。決してテクニックが上手でなくてもよいのです。必要なのは、自分の長所や強みを素直に伝える力。企業といっても組織ですから、自分の思いや考えをしっかりと伝えるコミュニケーションが求められます。その手法がたとえ少し型破りだとしても、それが個性ではないでしょうか。説明会での質疑応答などでの受け答えのなかで、きらっと光るものがあるとやはり印象に残ります。そういう部分が見えるのもこのブース形式で話すメリットですね。

企業様コメント

企業と直接交流できる 「学内企業説明会」

重要

過去に多くの就職実績を誇る企業が参加する「学内企業説明会」を毎年2月に実施しています。今年2月開催の参加社数は6日間で651社。中部大生の採用を希望する企業が参加されるとあって、会場には多くの学生が集まりました。当日参加された企業の方からもコメントをいただきました。



就職活動支援について語り合った座談会はいかがでしたでしょうか。ここでは、大学を挙げておこなっている就職支援の一部をスケジュールと合わせてご紹介。例年高い就職率を実現する理由が見えてきます。

2009年度の主な就職先

【工学部】

清水建設(株)/大林組/戸田建設(株)/鴻池組/名工建設(株)/高砂熱学工業(株)/トリエック/日本電話施設(株)/シーキューブ(株)/朝朝日工業社(株)/シーテック(株)/中部プラントサービス/敷島製パン(株)/INAX(株)/森精機製作所/アマノ(株)/新東工業(株)/フジキカイ/リンナイ精機(株)/マズプロ電工(株)/日東工業(株)/愛知電機(株)/長浜キヤノン(株)/スズキ(株)/アイシン精機(株)/東海理化電機製作所/トヨタ紡織(株)/八千代工業(株)/小島プレス工業(株)/東朋テクノロジ(株)/名古屋トヨベツ(株)/愛知トヨタ自動車(株)/日本郵政(株)東海支社/東海旅客鉄道(株)/近畿日本鉄道(株)/日本空調サービス(株)/地方公務員 静岡市役所/地方公務員 愛知県警察本部

【応用生物学部】

山梨産産(株)/森永乳業(株)/太陽化学(株)/ロック・フィールド/フジパン(株)/カネ美食品(株)/敷島製パン(株)/コーミ(株)/名古屋製酪(株)/かかね(株)/ロピア/日進乳業(株)/農事組合法人 鈴鹿山麓夢工房/アグロ カネショウ(株)/ヨシタケ/リンナイ精機(株)/アドバンス電気工業(株)/松本義製製作所/ユニ(株)/アオキスーパー/フィールコーポレーション/あすか製菓/中北薬品(株)/伊勢久(株)/ジップ・ホールディングス/理科研(株)/ケヨー(株)/エディオンEAST(株)/カインズ(株)/良品計画(株)/シギヤマ薬品(株)/岐阜卓銀行/東海東京証券(株)/日本生命保険(株)/福玉精穀倉庫(株)/グリーンシティーテレビ(株)/JAあいち豊田農業協同組合/JAあいち知多農業協同組合

【生命健康科学部】

貝沼建設(株)/ハニーズ(株)/アルビオン(株)/三和化学研究所/共和食品グループ/ファンケル/中北薬品(株)/東芝メディカルシステムズ(株)/フクダ電子中部販売(株)/理科研(株)/トップメディア/中京医薬品(株)/ラビアンローゼ/慈照会/豊岡会 三田介護老人保健施設/ファルコバイオシステムズ/メディック/名古屋医師協同組合 名古屋臨床検査センター/愛知医科大学病院/名古屋済済会病院/地方公務員 市立四日市病院/労働者健康福祉機構 浜松労災病院/掛川市医師会健康センター/ユタカコーポレーション(株)/トヨタ自動車(株)トヨタ記念病院/豊田会 刈谷豊田総合病院/国家公務員共済組合連合会 東海病院/医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院

【経営情報学部】

協和コーポレーション/日本電通(株)/伊藤園/中部飼料(株)/名古屋製酪(株)/サンメッセ(株)/日本製菓(株)/日本コンクリート工業(株)/ヨシタケ/森ダイ電子/マックスパリュ中部(株)/アオキスーパー(株)/パロー/清水屋/中日本フード(株)/サンドラッグ/中北薬品(株)/丹羽幸(株)/トヨタL&F中部(株)/デンソー中部(株)/トヨタカローラ名古屋(株)/メニコ/日本振興銀行/蒲郡信用金庫/桑名信用金庫/東春信用金庫/東濃信用金庫/豊川信用金庫/豊証券(株)/西日本旅客鉄道(株)/日本郵政 東海支社/名古屋鉄道(株)/旭情報サービス(株)/インテック(株)/フューチャーイン/JA愛知北農協同組合/JA三重中央農協同組合/総合警備保障(株)

【国際関係学部】

フォナックスグループ(アパートネットワーク(株)/加藤建設/親和建設(株)/オンテックス/兼八産業(株)/かかね(株)/ライクスタカギ/中部飼料(株)/豊田乳業(株)/名古屋製酪(株)/ハニーズ(株)/ファーストリテイリング/日立立テニカルコミュニケーションズ/豊源(株)/コムイナキ(株)/栄光真珠(株)/シヨクフン(株)/フィールコーポレーション/高瀬物産(株)/アイタック技研(株)/サンドラッグ/NNP(株)/東海物産(株)/トヨタカローラ三重(株)/レッドバロン(株)/セキド/国書書/南平田メディカル/岐阜卓銀行/岡崎信用金庫/三井住友海上火災保険(株)/第一生命保険(株)/エイブル(株)/ビルディング企画/ヤマト運輸(株)/上組(株)東海交通事業/濃飛倉庫運輸(株)

【人文学部】

損益川工業グループ/協和コーポレーション/ダイダ(株)/名古屋製酪(株)/学宝社(株)/ファインスター/フィールコーポレーション/三越 名古屋栄店/清水屋(株)名銀百貨店/サークルKサンクス(株)名銀百貨店/中北薬品(株)/プラダジャパン(株)/エディオンEAST/東海物産(株)/カインズ/トヨタカローラ愛知(株)/ホンダカーズ三重(株)/レッドバロン/岐阜日産自動車(株)/名古屋ダイハツ(株)/スキヤ局/岐阜卓銀行/岐阜信用金庫/尾西信用金庫/富士信用金庫/日本生命保険(株)/名古屋鉄道(株)/JAあいち中央農協同組合/JAなごや農業協同組合/JAみなみ信州農業協同組合/JA掛川市農業協同組合/JA津安芸農業協同組合/郵便局(株)

4年次

10月	7月	6月	5月	3月	2月	1月	11月~12月
就活セカンドステージⅣ (学内企業説明会)	就活セカンドステージⅢ (学内企業説明会)	就活セカンドステージⅡ (学内企業説明会)	就活セカンドステージⅠ (学内企業説明会)	就職筆記試験対策講座	これから始める学生向け① 「総合就職セミナー」 「履歴書から面接まで」	学内企業説明会	卒業生と就職を語る会 (同窓会主催)※全学年対象
面接対策セミナー	第2回就活ガイダンス	第1回就活ガイダンス	面接対策セミナー	合同採用面接会	これから始める学生向け② 履歴書作成・面接対策講座	学内企業説明会事前ガイダンス	女子学生のための就職講座
●求人情報の収集	●職種・仕事の研究	●教育・訓練	●教育・訓練	●教育・訓練	●求人情報の収集	●教育・訓練	●意思決定 ●自己理解 ●職種・仕事の研究

必ず参加を キックオフミーティング

参加した学生(3年生)のコメント

〈文系・男性〉
説明会に参加することで就職への意識が高まり、心構えもできました。話し方やコミュニケーション力もレベルアップできたと思いますので、今後の面接へ活かしていきたいです。

〈理系・男性〉
企業間取引が主体の会社を希望しているのですが、話を聞くことで事業内容や仕事内容がわかると思い参加しました。自分が学んできた機械系の知識を活かせそうだと感じました。

〈文系・女性〉
あらかじめ予約をせずに参加できるのはメリットです。また参加することで友人と話ができたため、ほかの企業の印象や活動状況などの情報交換ができるのもいいところです。

〈理系・女性〉
自分で会社を探してエントリーしようと思うと、有名な会社ばかりになってしまいます。でもここに来れば、地元の中小企業に話を聞くこともできるため、エントリーの幅も広がります。

学内実施の就職ガイダンス等のご案内や「就カツ手帳」の配付、4年生内定者による就活体験報告など、本格的な就職活動のスタートに欠かせない情報を伝えます。

人生の大きな分岐点となる就職。高い意識で臨んでほしい。
リコー中部(株) 人事総務センター 佐々木様

説明会やセミナー会場では、誰がどこでどう見ているかわかりません。たとえ話を聴く姿勢がよくて、どれだけ印象がよかったと感じても、一歩外へ出た時に、素の行動が見えてしまうことはよくあることです。このような説明会に参加させていただくと、時々残念だなと思うこともないとは言えません。説明会から面接へと選考が進んでいくなかで、面接前や面接後に、そういう行動から悪い印象を持たれてしまっはもったいないことです。人生の分岐点となる就職活動に対して高い意識を持って臨んでほしいですね。

自分と向き合い、一歩踏み込んだ具体的な将来像をイメージしてほしい。
ヤマサちくわ(株) 総務部 早川様

当社は食品会社ということもあり、衛生・品質管理の知識を持った人を採用したいと、食品栄養科学科の開校以来、この説明会に参加させていただいています。実際に、OB・OGの方も当社で活躍していますが、その先輩たちに共通していたのが、「ヤマサで働きたい」という意志を持っていたということ。たとえば、営業職といっても、その業務は企業によってさまざま。だからこそ、もう一歩踏み込んで「自分はその企業で何がやりたいのか」というところまで明確にできるよう自分と向き合うことが大切だと思います。

学内企業説明会から企業の採用活動はすでに始まっています。
東濃信用金庫 人事部 人事課 渡辺様

私たち信用金庫での仕事はFace to Faceでお客様のご要望にお応えすることがとても大切になってきます。ですから、当社の採用方針としてコミュニケーション能力を重要視しています。特にこの説明会のように学生の皆さんと顔と顔を合わせて話ができる場合は、その能力を備えているかどうかを見極める場として非常に大きな意味を持ちます。もちろん、各企業さんの方針にもよりますが、説明会からすでに採用活動が始まっているということをしかりと認識して、目的意識をもって臨んでほしいと思います。

社会人としての責任を学ぶ

インターンシップ

インターンシップは、将来のキャリアを意識した実習・研修を実際の企業等で体験する制度です。本学では、自主性・創造性を備えた人間形成を目指したキャリア教育の一層の充実を図るため3年生を中心に実施しています。就職活動に入る直前の職業観や就労意識を高める有効な手段として、大きな成果をあげています。



■2010年度主なインターンシップ先

高砂熟学工業(株)	清水建設(株)
東海テレビ放送(株)	(株)ポッカコーポレーション
(株)名古屋観光ホテル	愛知県がんセンター研究所
名古屋トヨペット(株)	春日井商工会議所

■インターンシップ実施要領

インターンシップA

インターンシップの研修前に、事前研修として、電話応対の基本や挨拶の仕方などビジネスマナーの修得をおこないます。

インターンシップB

企業や官公庁等で、研修をおこないます。会議への参加、来客対応、営業同行など内容は多岐にわたります。

働くことへの不安を解消

卒業生と就職を語る会

最近の就職活動は、インターネットに頼りすぎる傾向があります。そこで、志望する業界、企業の先輩方から直接お話を聞くことは、企業・仕事内容の深い理解につなげることができる貴重な機会と捉え、就職活動が本格的に始まる3年生はもちろん、すべての在学生を対象に交流会を実施しています。学生の働くことへの漠然とした不安や疑問を解決する上でも重要な役割を担っています。

■2009年度開催実績(12月5日開催)

- 第1部 講演会 「働くってどういうこと?」と題した講演会を開催。元リクルート、現キャリアアイド代表の相田一成氏にご講演いただきました。
- 第2部 卒業生とのグループディスカッション 『「学生」と「社会人」の違いについて』というテーマのもと、社会人としての心構え・仕事への取り組み姿勢について話し合いました。
- 第3部 何でも相談会 「働くこと」や「就職活動」への不安・疑問を卒業生の方々に質問しました。その後の懇親会では学生の相談にもっていただきました。

2010年度は12月11日に開催予定

学生にとっても心強い味方

中部大学幸友会

中部財界人による後援組織「中部大学幸友会」の存在は、学生にとっても心強い味方です。幸友会は、さまざまな分野の企業が参加している支援機関で、その法人会員数は約780社を数えます。その多くの企業に、毎年2月に実施する「学内企業説明会」にご参加いただくことで、卒業生の多くが会員企業に就職を決めています。2009年度は、210社236人が幸友会会員企業へ就職し、卒業生全体の約19.7%を占めました。



幸友会講座

幸友会会員企業が、学生を対象におこなう講演会を「幸友会講座」として2009年度からスタートしています。第1回目は、3年生を対象にインターンシップ事前研修の一環として実施。企業経営者の生の声を聞くことで、学生は就職活動に対して取り組む気持ちを新たにしています。

■2010年度資格取得対策講座一覧

公務員試験対策講座 (教養コース・総合コース)	公務員受験指導に精通した講師陣が徹底指導。質の高い授業と完成度の高い学習で、公務員試験突破を目指す。
ITパスポート	平成21年度の情報処理技術者試験制度の改革により新しく創設された国家試験。情報技術の基礎知識をはかる試験となっている。
ファイナンシャル・プランニング(FP) 技能検定(3級)	就職活動の強力な武器となり、多方面で活躍の場が広がる国家資格。資産運用の提案ができるスペシャリスト。
旅行業務取扱管理者(国内・総合)	旅行業界を志望する人にとって持っていたい国家資格。国内のみ扱う「国内」と海外・国内の両方を取り扱う「総合」の2種類。
宅地建物取引主任者	不動産の売買、賃貸の代理などの際に公正な取引を遂行する役割を担う。不動産に限らず銀行、生保など活躍の場は他業種へ拡大中。
ビジネス実務法務検定(3級)	ビジネスパーソンに必要な法律知識の習得を目的とした公的資格。この資格を採用の際の能力評価の参考にする企業も増えている。
危険物取扱者(乙種第4類)	化学工場や石油貯蔵所、ガソリンスタンドなど、発火性、引火性の高い物質を扱う現場で重要な役割を担う専門資格。
カラーコーディネーター検定(3級・2級)	色は購買意欲を大きく左右する重要なポイント。色彩に関する専門知識や心理的作用を学び、知識やセンスをブラッシュアップ。
秘書技能検定(2級・準1級)	社会人としてのマナーやコミュニケーション能力などの判断基準となる試験。社会的認知度が高く将来のキャリアアップにも役立つ。
ビジネス能力検定(3級・2級)	企業人にとって必要なビジネスの基本知識やスキル、マナーなどを、総合的に身につけようとする人のための資格。
工業英語能力検定(3級)	科学技術情報や専門分野の読み書きに必要な英語能力を評価する試験。電気、機械、化学、情報などの分野から出題される。
公務員試験基本講座	公務員試験のための基礎力養成を主に、企業の筆記試験にも十分なカリキュラムで構成。公務員試験対策の入口としての受講がおすすめ。
基本情報技術者	システムエンジニアやプログラマーを目指す人の登竜門となる国家試験。コンピュータ関連の企業に限らず一般企業でも評価は高い。
簿記検定(3級・2級)	3級では個人商店を前提とした帳簿記入の方法を学習し、2級では株式会社の会計処理を学習。まずは2級までの修得を目指す。
販売士検定(2級)	流通業に必要なビジネス知識・能力を体系的に修得することを目的とした公的資格。座学、問題演習など、実践的な講義を実施。
CAD利用技術者(2級)	CADとはコンピュータを利用して設計・製図すること。建築、機械、電気、自動車など幅広い分野でニーズが高い資格。
MCAS講座 (Excel 2007/Word 2007/Power Point 2007)	Office2007の利用スキルを認定する世界共通の資格。この資格を取得すると文書作成や表計算などが効率よくこなせる。

資格取得対策講座

学内で格安に受講

就職活動の大きな武器となるのが「資格」。キャリアセンターでは、大学内で受講できる「資格取得対策講座」を開講しています。後援会が受講料の一部を補助しているため、一般の資格専門学校に比べて受講料は格安。お子様にもぜひ受講をおすすめください。

就職活動に向けた早期対策

就職筆記試験 対策講座

就職氷河期の再来とも言われる昨今、キャリアセンターでは学生のさらなる就職活動支援の一つとして新たに「就職筆記試験対策講座」を開講します。本講座では、企業の就職試験でおこなわれる筆記試験の中でも極めて採用率の高いSPIやGABの「能力検査」の対策に特に重点を置いて授業を進めます。3年生は就職活動を有利に進めるために、また2年生は基礎学力アップと早期の対策としての参加をおすすめします。

SPIとは?

約6400社が採用しているリクルートマネジメントソリューションズの筆記試験。約40%のシェアがあるとされています。

GABとは?

金融業界、商社業界などで採用が多い日本SHL社の筆記試験。約20%のシェアがあるとされています。

■申込手續について

講座開講時期	8月、11月、3月(予定)
申込受付期間	学科掲示板、キャリアセンターホームページ上でお知らせします。
申込方法	キャリアセンターで申込に必要な資料をお渡しします。
受講料	未定

きっかけをいただき結果はどうあれ
全力を尽くそうと心に決めた。

初めて会社を受けたのが4年生の9月ですから、相当遅いスタートでした。4年生になり本来の最優先は就職活動だと思いますが、野球部のマネージャー職も最終学年のため全うしたいという思いもありました。そういう背景もあり、夏休み明けに野球部の監督さんから企業をご紹介いただき受験。1社目は、初受験で緊張もあり、周りの雰囲気にも飲まれ、完全な準備不足でボロボロ…。ショックは大きく、就職を甘く見ていたという気持ちがありました。2社目は2人同時の面接。もう一人の方は準備万端な様子で、話のつなげ方も素晴らしい。結果はダメでしたが、野球で「人のいいところは盗め」と教わっていたから、そこから学ばせてもらいました。そして3社目で内定を獲得。内定はタイミングや縁もありますが、私にとっては野球部での活動が大きな支えになり、就職活動では一つの武器にもなったと思います。ただ本当に監督さんと大学の支援にはとても感謝しています。

就職先 福玉精穀倉庫株式会社

ふたむら のぶや
二村 允也さん

経営情報学部 経営情報学科 2009年度卒業



エントリー社数

3社

受験社数

3社

就職活動開始時期

4年生9月下旬

就職活動終了時期

4年生10月中旬

私を支えた母の一言

野球を一度もやめずに
ここまで続けてきたんだから、
それだけは納得して
終えなさい。



先輩に聞きました。

内定までの道のり

&進路決定

幼い頃からの夢を叶えるため。
だから就職活動も苦ではなかった。

私が受けた会社はすべて鉄道業界。というのも、幼い頃から電車の運転士になりたいという夢があったからです。ハイリスクな方法でしたが、夢を叶えるための選択でした。そのためすべての会社を全力受験。企業の方に顔と名前をいち早く覚えていただけるよう説明会には毎回参加し、座る席は一番前、説明会が終わった後は残って必ず質問も。ただ、それを無理にしていたわけではありません。企業の方のお話は知らないことや初めて聞くこともあり、勉強になります。ですから就職活動が長いとか、苦しいとも思いませんでした。自分の夢を叶えるためと思えば、むしろ楽しささえ感じていましたね。毎回、いろいろな場面で「人は人、自分は自分」と思うことがあります。自分がやってきたことは自信を持って言えますし、もし仮に比較して自分が劣っていても、その中に自分らしさがあるはず。思いをしっかりと伝えて、飾らない自分を出すことも就職活動では大事だと思います。

就職先 名古屋鉄道株式会社
鉄道運輸職たかの あきひと
鷹野 陽人さん

人文学部 英語英米文化学科 2009年度卒業



エントリー社数

5社

受験社数

5社

就職活動開始時期

3年生10月上旬

就職活動終了時期

4年生6月上旬

私を支えた先生の一言

やってみて、失敗して、努力して、
初めて物事を成し遂げられる。
だからまずやってみよう。
Just do it!



人のために働きたい。 その信念で前向きに臨んだ。

就活では、自分はどんな人間なのか、なりたい自分とは何かを整理し、気持ちを強く持って臨むことが大切です。就活をはじめた頃は、確かに不安もありました。書類選考で落とされ、落ち込むことも。でもそんな時は自分が悪いのではない、縁がなかったんだと気持ちを切り替えるようにしていました。また、緊張したり、暗くなって面接に臨んでも良い結果を生まないことはわかっていたので、気持ちは前向きに。そうすることで実際にうまく行き、自信にもつながりましたね。またキャリアセンターも頻繁に利用しました。新たに企業情報を得られることはもちろん、就職の専門家に話を聞いてもらえることが私にとっては支えでした。さらに両親の言葉で力をもらうことも。特に働いている父からの言葉やアドバイスは的確で説得力もありました。私の場合、スキルを身につけることよりも、弱気にならず、自分の信念をしっかり持つことで、筋の通った話ができ、面接でも思いを伝えられたのだと思います。

就職先

株式会社松本義肢製作所

おおつか ゆき

大塚 裕貴さん

応用生物学部 環境生物科学科 2009年度卒業



エントリー社数

50社

受験社数

20社

就職活動開始時期

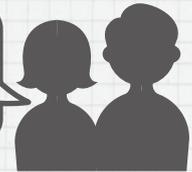
3年生10月上旬

就職活動終了時期

4年生4月上旬

私を支えた両親の一言

落ち込んでいてもしょうがない。
マイナス思考は運が悪くなるよ。
自分に自信を持って。



依然として厳しい状況が続いている就職を取り巻く環境。

就職活動が続けるなかで、挫けそうな時、進むべき道が正しいのか悩んだ時、
そんな時、先輩方はどのような思いを持ちながら前へ進み続けたのでしょうか。

今春から希望の道へと進んだ皆さんにお話をお聞きしました。

自分のノートを見返して蘇る知識。 1年生からの積み重ねが欠かせない。

大学院進学のかっけは、3年生の頃に抱いた研究職に就きたいという思いから。ですから最初は就職するつもりでした。しかし研究職に就くためには、学部の勉強だけでは足りないと思い、院で知識を深めて研究職になるための能力を身につけようと決心。その後はまったく焦りはありませんでした。周りの友人は就職活動を頑張っているけど、自分はあと2年間頑張るんだという意識で勉強していましたね。親も、進学の意味を伝えた時、しっかり考えて決めたことなら経済的な援助はしてあげると後押ししてくれました。試験勉強は、過去のノートを見直し、わからないことがあれば先生や同じ境遇の友人に聞くこと。ノートは見返すことでいろんな知識が蘇ってきますから、自分が学んできたことの積み重ねが生きてきます。面接では、なぜ大学院進学を決めたのか、何を研究したいのか、卒業後はどうするのかなどは、必ず聞かれると思いますので事前に考えておくことが大切です。

進学先

中部大学大学院
応用生物学研究科 応用生物学専攻

きのした せいじろう

木下 聖次郎さん

生命健康科学部 生命医科学科 2009年度卒業



■研究テーマ

「ムンプスウイルスの細胞指向性の分子生物学的解明」

■研究内容

ウイルスの遺伝子を調べて比較し、その遺伝子の違いが病原性に及ぼす影響について研究。さらに遺伝子だけでなく、培養細胞を使った実験もおこなっています。

私を支えた先生の一言

やるしかない!

卒業研究と国家試験を控え、やるべきことの多さに立ち止まっていた私を突き動かしてくれた一言です。結果、臨床検査技師国家試験に見事合格!



Close Up

クラブ & サークル



今年の2月に、第2回目の「クラブ・サークルブログ表彰式」がおこなわれました。今年は、投稿の多さが評価され、アングリング部が最優秀賞を受賞。また、優秀賞には中部大学祭実行委員会が、奨励賞には少林寺拳法部をはじめ、5つのクラブが表彰されました。

後援会では、学生に対する助成として、課外教育活動の援助をおこなっています。平成21年度は、課外活動での活動と業績が特に顕著だった団体や個人を表彰する「課外活動表彰授賞式」で、合計9団体と個人24人が表彰されました。ここでは、奨励賞を受賞した剣道部をはじめ、5つのサークルの活動内容をクローズアップします。



大きな掛け声を出し合い 稽古に励む毎日。

私たち剣道部は、男子部員37名と女子部員8名の計45名で、ほぼ毎日稽古に励んでいます。稽古中は、武道場に大きな掛け声が響き渡り、熱気と活気に満ちあふれ、まさに真剣そのもの。部員の多くは、幼稚園生や小学生など、幼い頃から剣道を続けており、特技推薦(スポーツ選手枠)で入部した部員もたくさんいるため、近年も良い結果を残しています。中でも、昨年西の西日本学生剣道大会の団体戦では3位とい

う好成績を残すことができました。しかし、今年の大会ではベスト16という結果に…。最後は同じ東海地区の大学に負けたとあって正直悔しい思いをしました。今はその悔しさをバネに、稽古に励む毎日です。



緊張と重圧を飲み込んで 勝った時の喜びはひとしお。

剣道の魅力の一つには、一本で勝った時の喜びがあります。団体戦で勝った時の周りからの歓声はうれしく、逆に負けた時はものすごく悔しい。泣けてくることもあります。それでも挫けず辛い稽古にも耐えて頑張り、次の試合で勝てるとやっばりうれしいですね。また、団体戦では個人戦とは比較にならないほどのプレッシャーが掛かります。でもそれに飲まれるのではなく、その重



剣道部

「剣道部」に直撃取材を敢行！
一戦一戦を大切に
して上を目指す

圧と緊張を飲み込み絶対勝つんだという気持ちで臨むしかありません。そうしたものを乗り越え、中部大学という名前を背負って勝った時の喜びはひとしおです。

感謝の気持ちを忘れず 目指すは全日本学生選手権。

団体でも個人でも闘う時は1対1の勝負です。相手に隙が生まれたところをどういう風に打つのかを考えながら試合に臨み、思い



描いた通りに技を出せた時は楽しさもありますね。剣道は礼儀作法

が身につくのはもちろんのこと、過酷な武道でもあるので、強い心と体を手に入れることもできます。今こうして続けてこられた裏には、親のサポートもありました。防具を買ってもらったり、大会では差し入れをしてもらったり、最近では遠方から応援に来てくれることも。そんな時に勝つことができれば、少しは恩返しになるかなと思うようになりました。今の目標はまず9月の全日本学生選手権の予選で上位に入ること。そして10月の全国大会で勝てるよう頑張ります。



〈主将〉
さやま まさき
佐山 雅紀さん(中央)
工学部
応用化学科4年

〈副主将〉
たばた りょういち
田幡 亮一さん(左)
人文学部
日本語日本文化学科4年

おおた あゆみ
太田 歩さん(右)
生命健康科学部
保健看護学科2年

空手は隠れた団体競技。 みんなで助け合う 気持ち大切です。

私たち空手道部では、みんながお互いを助け合う気持ちを大切にしています。空手と言えば個人種目のイメージが強いと思います。確かに“形”は個人技ですが、勝てるチームになるためには、みんなが協力し合って、部全体が強くならなくてはなりません。そんな時、いい選手や強い相手が近くにいないければ、自分自身も強くなれないのです。そういう意味では隠れた団体競技だと思っています。また、練習は、自分たちで目標をつくるところからはじまります。ですから大会で結果を残せなければ、あるいは楽しく空手ができなければ、責任は自分たちにある。そういう風に考えればいろんな努力も苦になりません。今の目標は、後輩たちへ空手の楽しさや空手道部への思いを伝えていくこと。そして秋の大会での上位入賞です。やるからには個人戦はもちろんですが、仲間と力を合わせて勝利を勝ち取る団体戦での1位を目指します。

釣り場の清掃活動、 大会への出場、 すべては釣りを楽しむため。

私たちが入部した3年前は、部員数が4名という危機的状況でした。しかし今は14名にまで増え、週に2日、主に春日井市内の河川や池でルアーフィッシングをしています。釣りは自然相手のスポーツ。そのため危険が伴いますので知識も必要です。そこで部員同士で行くことで、技術的なことはもちろん、道具の使い方、釣れる場所などの地理情報も覚えられます。また専門用語が多いルアーフィッシングはアメリカが発祥ですから、英語の勉強にもなりますね(笑)。さらに、わが部では釣り場の清掃活動もしています。きっかけは釣り具メーカーのクリーンキャンペーンへ応募したのですが、今では少しでも釣りができる場所を残していきたいという思いから月に一度の清掃は欠かすことはありません。最近では、長年はずれていた学釣連へ加盟することができ、今年は秋に石川県の能登で開催される大会への出場も決まり、今からとても楽しみです。

空手道部

部員数…16名



〈部長〉
あかさか たかき
赤坂 貴輝さん(中央)
工学部 都市建設工学科4年

〈副部長〉
かなざわ ふゆき
金澤 冬樹さん(右)
応用生物学部 食品栄養科学科3年

〈マネージャー〉
やまだ むつこ
山田 睦子さん(左)
生命健康科学部 生命医科学科4年



アングリング部

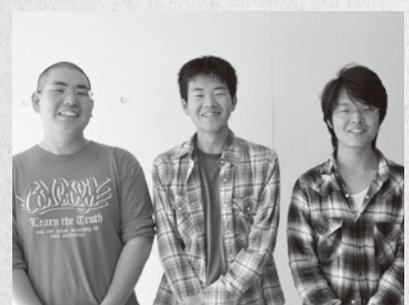
部員数…14名



〈部長〉
にわ ゆうすけ
丹羽 祐介さん(中央)
工学部 都市建設工学科3年

〈副部長〉
しばがき てつはる
柴垣 哲治さん(左)
応用生物学部 環境生物科学科2年

こば たつき
木庭 立貴さん(右)
工学部 建築学科3年



絵が大好きな人も、 絵を描くのが苦手な人も、 みんな美術部の楽しい仲間。

美術部の部員は、総勢約50名。絵を描くことが活動の中心ですが、全員が集まって一斉に絵を描くのは難しいため、個人的な活動をメインにしています。ただ、年に3回は地下鉄の駅ギャラリーを借りて、必ず展示会を開催。一般の人から感想をいただくこともあり、“この絵はいい”とか“具体的にここは直した方がいい”という感想を読むと励みになりますね。しかし美術部といっても絵を描くことが得意な人ばかりではありません。もともと落書きが好きで絵に興味を持ちはじめた人、模写が好きで集中すると時間が経つのを忘れてしまう人、とにかく部の雰囲気が好きで入部した人…。あらゆる学年、学部学科のいろいろな考え方をを持った人が集まってきます。多趣味な人との出会いで人間的な幅も広がったと思います。今年は新入生の入部希望が多く、募集を締め切る事態に。これからも仲良く楽しく絵を描き、絵を学び合える美術部であり続けたいと思っています。

音には気持ちが表れる。 一つの音楽をつくるためには 体力と精神力も欠かせない。

「Face to Face～人と音楽と向き合う～」を、今年の団目標に掲げて活動しています。吹奏楽は、単に楽譜に並べられている音を吹いても曲にはなりません。真剣に音楽と向き合い考えて練習することが不可欠です。また、自分たちが今まで歩んできた道のりも音の表情として表れますので、自分自身に向き合うことも大切。さらに、みんなが一つの音楽をつくりあげられることが、吹奏楽の魅力でもあるので、お互いの関係が良好であることも重要です。ケンカをした日や体調が悪い日はすぐに音に影響してしまいますから。だからこそ練習では雰囲気を大切にするとともに、一生懸命に集中して取り組んでいます。特に1年の締めくくりとなる定期演奏会前は、練習時間が1日10時間を超えることもあり、体力と精神力が欠かせません。そんな演奏会が終わった後は、達成感はもちろん言葉にできない感覚がありますね。また演奏後は、みんなの団結力も確実に強くなっていると感じます。

美術部

部員数…約50名



〈部長〉
あんどう
安藤 あすみさん(右)
人文学部 日本語日文化学科3年

〈副部長〉
つちや ゆうすけ
土屋 優介さん(中央)
経営情報学部 経営情報学科3年

〈DM(宣伝係)〉
かのう りな
加納 里奈さん(左)
現代教育学部 幼児教育学科3年



シンフォニックバンド

部員数…64名



〈部長〉
まじい さおり
吉井 沙織さん(中央)
応用生物学部 食品栄養科学科3年

〈学生正指揮者〉
しんがい あゆみ
新貝 歩さん(右)
人文学部 歴史地理学科4年

〈ドラムメジャー〉
こじま みつはる
小島 光晴さん(左)
経営情報学部 経営情報学科3年



CVG中部ニューテクノロジー大賞

&

CVG全国大会特別賞・TDK賞受賞

ダブル W受賞!

春経済講演会・永井嘉吉記念賞顕彰式
バスベンチャーグランプリ中部表彰式
産業人クラブ・CVG中部実行委員会・日刊工業新聞社
日刊工業新聞社 中部電力グループ 東海旅客鉄道 東海ガス トヨタ自動車 日本ガイシ プラザ 工業 北陸電力 マイクロソフト マサダマ コンパニイ



2010年2月、日刊工業新聞社が主催する、学生による新事業の提案コンテスト「第7回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中部」で、平田研究室(情報工学科)の鹿島智徳さん、加島崇史さん、牧孝郎さんのグループが発表した「携帯電話を用いた居眠り運転防止システム」が、CVG中部ニューテクノロジー大賞を受賞しました。また同年3月に、北は北海道から南は九州までの全国8エリアの上位入賞者が競う「第6回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会」で、特別賞・TDK賞を受賞しました。地区大会での受賞に続き、全国大会での入賞は本学で初の快挙です。

キャンパスベンチャーグランプリとは…

大学、高等専門学校などの学生から新商品、事業アイデア、ビジネスプランを公募し、優れたプランを表彰するもの。新事業の提案コンテストを通じて、日本の次代を担う若者の人材育成と新産業の創造を目的としており、起業家精神を養い、問題・課題解決型の人材を育成する教育事業プロジェクトとして位置づけられている。

■受賞までの流れ

応募
(中部6県から23校171件の応募)



書類審査



23件が書類審査を通過

最終審査
(プレゼンテーション、ヒアリング)



新規・独創性、事業・市場性、
表現力をポイントに審査

ニューテクノロジー大賞受賞



全国大会出場



特別賞・TDK賞受賞

受賞テーマ

「携帯電話を用いた 居眠り運転防止システム」

交通事故の中でも重大事故につながる居眠り運転に着目したプランです。利用したのは、携行性に優れ、普及率が高い携帯電話。携帯電話に付いているカメラ機能と加速度センサーを使い、ハードウェアの開発なしにソフトウェアの配信で、居眠り防止システムを実現。簡便かつ安価でありながら商品力を持っている点がポイントです。具体的には、ビデオカメラが写す顔画像から眼球運動を検出すると同時に、携帯電話内の加速度センサーで車の振動を計測。眠気の予兆を検出すると、着信音などの音刺激でドライバーの居眠り運転を防止するというもの。着眼点が良く、事業化に向けた具体性も高く評価されました。

9/18

海外の協定大学などから12人が来学 2009年度 秋学期短期留学生 歓迎会

アメリカ・オハイオ大学、中国・外交学院、オーストラリア・ニューイングランド大学、マレーシア・マレーシア科学大学から来学した留学生のために、立食形式の歓迎会を開催しました。教職員や留学生サポートの学生たちも加わって、和やかな交流のひとつとなりました。



9/23

ご父母に大学を公開 父母との集い

大学の現状説明や就職支援援助の解説などをおこなう全体会、図書館や茶室などの見学、学部別(学科別)説明会、個別面談など、盛りだくさんの内容でおこなわれた「父母との集い」。2009年は、全学部を対象に1日で開催。キャンパス内を楽しそうに巡る大勢の参加者の姿が見られました。



2009.7~2010.6

YEAR ALBUM

この一年の間に開催された大学行事をご紹介します。

学生主体の催し、地域とのふれあい、旬な話題の講演会など、内外の注目を集めるイベントが目白押しでした。

7/25

生命健康科学部3学科新設記念講演会 健康とスポーツのフシギな関係

生命健康科学部理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科の新設を記念して、講演会を開催しました。講師は、プロ野球解説者で元阪神タイガース投手、元参議院議員の江本孟紀氏。球界の現状や現役・OB選手の逸話、健康とスポーツの関係など幅広い話題で、一般の方も含む参加者を魅了しました。



7/30

教育活動とその改善活動を評価

2008年度 中部大学教育活動顕彰授賞式

優れた教育活動やその改善活動・実績を評価する本学独自の制度が、2008年度より教育活動顕彰制度として生まれ変わりました。第1回の授賞式は、キャンパスプラザ3階学生ホールで開催。教育活動優秀賞12人、教育活動特別賞1人に、記念の楯と教育活動振興支援費が佐々木後援会長より贈呈されました。



11/1~3

中部大学の祭典 第46回中部大学祭

2009年の大学祭は、「+color」がテーマ。その名の通り、たくさんの催しがカラフルにキャンパスを彩りました。メインストリートの模擬店には、学内外の参加者がずらりと列をつくり、ステージはいつも大盛り上がり。学生も参加者も笑顔がはじける3日間となりました。



チアリーダーによる
華やかなステージ。



8時間自転車
耐久レース。



弓道部による演武。

10/7

大規模震災に万全の備えを 防災講演会

防災対策協議会主催で開催された防災講演会。学生、教職員のほか、近隣の市民あわせて約200人が参加しました。特定非営利活動法人レスキューストックヤードの栗田暢之代表理事による「災害とボランティア-巨大地震とは・避難所の立ち上げ・ボランティアの役割-」と題した講演後、中部大学ボランティア・NPOセンター、近隣市民と栗田氏との意見交換会がおこなわれました。



10/14

海外での学びを報告 留学・海外研修 帰国報告会

中国・ハルビン理工大学、アメリカ・オハイオ大学、イギリス・オックスフォード大学への派遣留学または研修を体験した学生の帰国報告会が開かれました。参加した学生は、現地で体験した語学研修やホストファミリーとの交流の様子をグループ単位で報告しました。



11/8

看護師の卵たちが決意表明 保健看護学科 立志会

生命健康科学部保健看護学科4年生(1期生)の「立志会」が三浦幸平メモリアルホールで開催されました。舞台上に立った4年生は、グループごとにキャンドルとライトを灯して、看護師としての第一歩を踏み出す決意を表明しました。



10/28

キャンパスをみんなできれいに 第9回学内清掃キャンペーン

学生によるボランティア団体C.U.P.(Clean Up Project in Chubu Univ.)と、集まった約250人の学生・教職員が、約1時間かけてキャンパス内の各所を清掃しました。



2/15～17、
24～26

約300社の企業へ学生 のべ4,039人がコミット 学内企業説明会

2011年3月卒業予定の3年生(当時)を主な対象とした学内企業説明会が、6日間にわたっておこなわれました。スーツ姿の学生たちは、緊張した面持ちでお目当てのブースに並び、積極的に質問を投げかけるなどして情報収集に努めていました。毎年この時期におこなわれる学内企業説明会は、本格的な就職活動のスタートとして位置づけられており、学生たちにも好評を博しています。



約550人の聴衆を魅了 第6回中部大学音楽祭 ～チャリティーコンサート～

「青春の響き」と題し、中部大学の混声合唱団、マンドリンクラブ、ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ、シンフォニックバンド、管弦楽団が、日頃の練習の成果を披露しました。途中には、ジョン・ギャスライト教授とラムゼイ・パイプバンドによるバグパイプの演奏も。チケット代などの売上金は、NHK歳末助け合い、中日新聞社会事業団、日本介助犬協会に寄付されました。



活気と迫力ある演奏を披露したシンフォニックバンド。



美声で聴衆を魅了した混声合唱団。



「スコットランドの夕べ」と題しておこなわれたバグパイプの演奏。

1/8

新成人の門出を祝福 平成21年度 成人を祝う会

今年、本学で成人を迎えた学生は2,263人。成人を祝う会には、そのうち約400名が参加しました。まず、山下興亜学長から「厳しい社会に出て生きていくため、各自の能力と感性を生かす優れた専門職業人として成長してください」とお祝いの言葉が。その後、代表の学生が記念品を受け取り、燭台へ点灯。続いておこなわれたシンクロナイズドスイミングの元オリンピック選手日本代表、松村亜矢子氏の講演に、熱心に耳を傾けていました。



3/1

GP採択事業内容を広く紹介 第1回GPフォーラム

文部科学省平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」に「『持続学のすすめ』による実践型人材の育成—文理融合型教育による「あてになる人間」の育成—」が採択されたことを受けて開催された第1回GPフォーラム。明治大学理工学部の北野大教授の講演もおこなわれ、一般市民を含む約200人の参加者が耳を傾けました。



1/22

優れた活動をたたえて 平成21年度学長表彰の会

学術・研究や社会貢献など、さまざまな分野で顕著な業績を残した学生を表彰する学長表彰の会。学生たちは、山下興亜学長から表彰状と記念品を受け取り、それぞれ自己紹介をかねて表彰内容の説明をおこないました。



5/29~30

夜を徹して42km余を完歩 第16回ナイトウォーク

初夏の恒例行事でもある「ナイトウォーク」が今年も開催され、学生73名(男子45名・女子28名)と教職員7名が参加しました。29日の午後7時40分に学内の野外ステージで出発式がおこなわれ、軽音楽部の演奏やチアリーダー部の演技で参加者を激励。8時前に全員が順次スタートゲートから出発。はじめは、しりとりをしながら歩く学生の姿も。道中、3~6kmごとに設けられた休憩ポイントで体を休めながら、深夜の眠気や足の痛みに耐えながら夜を徹して歩き続けました。約12時間後の午前7時40分過ぎにはトップがゴール。9時までに全員が恵那の研修センターに到着しました。到着後には、スタッフが用意したおいしい豚汁で疲れを癒しました。



6/9

仲間と力を合わせた熱き闘い 第8回全学学科対抗スポーツ大会

7学部27学科から2,200人を超える学生が参加した第8回全学学科対抗スポーツ大会。男女のリレー、長縄跳び、綱引き、玉入れの各種競技がおこなわれ、今年は、都市建設工学科が見事に総合優勝を勝ち取りました。この大会の様子は、放送研究会(チューテレ)の学生が中心となってインターネットで生中継されました。





現代教育学部

- 幼児教育学科
- 児童教育学科



生命健康科学部

- 生命医科学科
- 作業療法学科
- 保健看護学科
- 臨床工学科
- 理学療法学科

学部紹介

2010年春から、中部大学は生命健康科学部へ新たに3学科を加えて、7学部27学科体制でスタートしました。ここでは学部の概要と合わせて、ゼミを1つずつご紹介します。ご子息、ご息女が在籍される学部を知る一助になれば幸いです。



工学部

- 機械工学科
- 電気システム工学科
- 電子情報工学科
- 都市建設工学科
- 建築学科
- 応用化学科
- 情報工学科

経営情報学部



- 経営情報学科
- 経営学科



応用生物学部

- 応用生物化学科
- 環境生物科学科
- 食品栄養科学科



人文学部

- 日本語日本文化学科
- 英語英米文化学科
- コミュニケーション学科
- 心理学科
- 歴史地理学科



国際関係学部

- 国際関係学科
- 国際文化学科
- 中国語中国関係学科

工学部



Pick Up ゼミ
機械工学科 佐伯 守彦ゼミ

[研究テーマ]

機械の知能化に関する研究

私たちはコンピュータによる機械の制御の研究をしています。人型ロボットの開発や紫外レーザを用いた精密加工の研究に取り組んでいます。

日本の科学技術は、20世紀後半にキャッチアップ時代を終え、フロントランナー時代に突入。現在では「真に人類の福祉の向上に貢献する世の中のない新しいものを作り出す技術」が社会から強く求められています。工学部ではこのような「21世紀の社会からあてにされる技術者」を育成する使命を強く意識して、フロントランナー時代にふさわしい創造的実践能力を身につけるための具体的な学習・教育目標を設定し、学生がそれを達成して社会に出てから役立つよう徹底的にサポートしています。学生一人ひとりが問題解決の方策を考える創成科目や最先端のCAD・CAM・CAEを学ぶ科目を中心とした教育プログラムを用意し、「人々の福祉・幸福の向上に貢献できる技術者や研究者の育成」を目指しています。

ここがPoint!

「複数の専門分野にまたがる基礎」を身につけます。
先端知識の多くは時代とともに変化しますが、基礎知識は普遍です。つまり、時代が変化したり、職場を移って取り扱うモノが変わったりしても、その都度役に立つのは「普遍的な基礎知識の応用」です。複数の専門分野にまたがる基礎を身につけることで、科学技術を取り巻く環境の変化にも柔軟に対応することができます。

モノづくりに必要な創造的実践能力を養い、
フロントランナー時代の技術者を育成します。

経営情報学部

これからのビジネス社会で活躍する
多彩な人材を育成しています。

パソコンやインターネットの普及に象徴される情報革命の中、ビジネスの現場では、いろいろな情報技術をセンス良くビジネスに応用した情報システムを開発する人材と、そうした情報技術の成果を効果的に活用しながらビジネスをリードしていく人材の二つのタイプが求められています。経営情報学部には、「経営情報スペシャリスト人材」に重点を置く経営情報学科と、「ビジネスリーダー人材」に重点を置く経営学科があります。両学科の学生がともに履修できる科目を多く設けるとともに、もう一方の学科の授業も相当数を選択履修できます。一人ひとりのニーズと関心に合わせて勉強できる弾力的なカリキュラム運営によって、ビジネス社会で活躍する多様な人材を育成しています。

Pick Up
ゼミ 経営情報学科
阿部 仁ゼミ



[研究テーマ]
企業の国際化と
会計制度に関する研究

個性的な面々が揃っており、個人ベースの研究がメインですが、一緒に行動するときの一体感はなかなかのもの。課外活動(飲み会?)の盛り上がりは結構すごいです。

ここがPoint!

「スタートアップセミナー」で
コミュニケーション力、人間力を高めます。

経営情報学部では全学の動きに先駆けて初年次教育に力を入れていきます。少人数のクラスで教員と人間的に触れ合い、また学友とも切磋琢磨します。変化の激しい時代には、単なる知識ではなく「自分で学ぶ力」「コミュニケーションの力」が求められます。少人数教育の場合は2年次以降も卒業研究まで切れ目なく提供されます。

国際関係学部

使える語学、国際的な知識、国際交渉力で
国際化する21世紀の現場に貢献します。

世界を動かす政治、経済、民族、文化、環境などの諸要因を国家・民族の枠を超えて総合的・包括的・相關的に考察するのが国際関係学です。国際関係学部は3学科で構成され、国際関係学科は政治・経済・法律の知識を学習し、国際文化学科は文化・社会・言語の知識を学習します。中国語中国関係学科は、中国語の運用能力を習得し、中国の歴史、文化、ビジネスについて学びます。国際的な現場で活躍するためには、専門的な「語学力」、世界を複眼的に理解することのできる「国際的な知識」、異なった価値観を持つ人に対し自分の考えを伝え、説得するための「国際的な交渉力」が求められます。国際関係学部では、この3つをバランスよく身につけられるよう徹底サポートしています。

Pick Up
ゼミ 国際文化学科
中野 智章ゼミ



[研究テーマ]
古代エジプト文明が後世に与えた
影響に関する研究

モノを通して文化を考える中野ゼミは、どんな教室の外へ出ていきます。先生は古代エジプトの神殿やピラミッドといった遺跡を現地調査しています。

ここがPoint!

「知の現場主義」をモットーに国際社会で生きる力を。

国際関係学部では、教室で学んだ理論を現場できたと、現場で学んだ経験によって理論を練り直すといった「学びの双方向スタイル」を徹底し、その「つながり」を重視して、参加型・対話型の講義やゼミを配置しています。また、充実した海外実習・研修・留学プログラムを通じて、皆さんの生きた現場体験を積むこともできます。

人文学部

人間と文化に関する教養と
実践的なスキル修得を目指しています。

科学技術の進歩によって、人間は多くの利便を得ると同時に、生命倫理や環境破壊など、今だかつてない問題に直面しています。そのような時代だからこそ、人間のあり方や文化について深く追究しようとする人文科学の重要性がこれまで以上に高まっています。人文学部は5学科で構成され、人間のことば、心理、社会、メディアと表象、歴史・地理などの事象を対象としながら、学びを通して学生の可能性を引き出す役目を果たします。目指すところは、現代社会を生きていく上での幅広い教養を学び、自己を確立し、健全な判断力を養い、自己を更新していく能力を養うこと。教養と実践的なスキル修得をバランスよく配置して、意欲を持った学生を歓迎し、その期待に応えるべく努めています。

ここがPoint!

勉学の基礎である言語力と基本的技法を重視。

人文学部の全学科で日本語の読み書きを重視。従来型の文学偏重ではなく、より広く言語に関わる歴史・民俗学、メディア、ドキュメンタリーを組み込んだ科目群を配置しています。また、コンピュータ・リテラシーをはじめ、統計処理、社会調査、メディア・リテラシー、映像技法などの技法科目で、今日の社会で必要な基本的スキルを磨きます。

Pick Up ゼミ 日本語日本文化学科 愛知 峰子ゼミ



[研究テーマ]

日本の近代文学に関する研究

先生を中心に皆が仲良くアットホームな愛知ゼミでは、明治の時代等、近現代の文学作品・作家に焦点を当て、作家自身や作品研究の歴史等を調べ、分析しています。

応用生物学部

応用生物学部は、バイオがテーマ。
「生命、環境、食」の専門家を養成します。

バイオサイエンス、バイオテクノロジーという言葉で代表される応用生物学の「バイオ」の世界は、追究するほどに無限の広がりを見せ、既存の学問的な枠組みではおさまらないほどに進展しています。そこで中部大学は、「バイオ」そのものにスポットを当て、応用生物学部を創設。基盤バイオと微生物をキーワードに人間の営みに直接アプローチする応用生物化学科と、微生物と植物の機能を活用して豊かな環境づくりをテーマとする環境生物科学科、バイオを基礎として食のプロフェッショナルを目指す食品栄養科学科を設置し、既存の枠組みを超える柔軟性のある研究学習を進めています。また二流の研究者から教育を受けられる体制を整え、最先端のバイオ分野を支える専門家の育成に取り組んでいます。

ここがPoint!

最新の設備を導入し、実験・実習を強化。

応用生物学部は、バイオの研究拠点と呼ぶにふさわしい最新の設備を導入しています。それらの設備・機器を使った実験・実習が充実。1年次に基礎物理学、基礎生物学などで基盤となる知識を修得し、その後、環境の分野ではフィールド実験、食の分野では食品プラントを使って、実際の食品製造実習もおこないます。

Pick Up ゼミ 応用生物化学科 堤内 要ゼミ



[研究テーマ]

食品中アクリルアミドの分析法開発・標的指向性磁性ナノ粒子開発など

学生19名・教員1名の大所帯。化学(有機・高分子化学、分析化学)を基盤として、さまざまな研究室との共同研究によりバイオサイエンスの最先端を開拓しています。

生命健康科学部

医学の基礎と生命科学技術を基盤に、
医科学と医療諸科学を学び健康に貢献します。

20世紀の科学技術の進展で、人類は利便性と物質的な豊かさを手にした一方、その変化が急速だったため健康・医療上の新たな問題を生み出しています。生命健康科学部は、21世紀型の健康・医療問題を解決するために、医学の基礎とバイオの基本を学部共通科目として学びます。その上で、生命医科学科では先端バイオと先進予防の学識と技術を、保健看護学科では保健看護の専門の学識と看護技術を修得。理学療法学科では予防理学療法を学び、作業療法学科では先端的作業療法を学び、臨床工学科では現場で求められる臨床工学の基盤的知識を修得します。これにより、健康・医療に関わるさまざまな専門家との連携を可能にする5つの新たな専門性を備えた人材を育成します。

ここがPoint!

総合大学で養成する医療のスペシャリストたち。

伝統ある工学部からは、高度な工学の知識と技術を。文化系の学部からは多彩な教養の吸収を。このように幅広い視野を持つことができるのは、総合大学ならではのメリットです。また、さまざまな分野の医療人を目指す学生同士が一つのキャンパスで学ぶことは、将来それぞれの役割を理解し、協力し合う姿勢の育成にもつながります。

Pick Up
ゼミ

生命医科学科
岩本 隆司ゼミ



[研究テーマ]

マイクロRNAと疾患に関する研究

実験用ゼブラフィッシュの飼育室にて、大学院生の山本さん(左)と卒業研究生の朝倉さん(右)。最近では稚魚も育ち、卵へのRNAの導入も順調です。

現代教育学部

子ども一人ひとりの可能性を引き出せる
教育の専門家を養成します。

先生が単に「教える人」でよかつた時代は、急速に過去のものになりつつあります。今、保育・教育の現場で求められるのは、子ども一人ひとりと向き合い、その可能性を引き出すことができる先生です。現代教育学部では、現場で教育者がレディーマイドのカリキュラムを「お仕着せ」のように押し付けるのではなく、子どもたちの豊かな学び合いと育ち合いが促されるように、その場に応じて臨機応変にカリキュラムをデザインできる実践力の基礎を修得します。さらに、総合大学が持つ“知”の財産で、保育・教育現場で優れた実践力を発揮できる人材に育成します。先生としての実践力を身につけると同時に、何かひとつ自分自身の得意分野を持つことで、活躍の場が広がるだけでなく、子どもたちへの影響力も高めることができると考えています。

ここがPoint!

学ぶ意欲を高めるスタートアップ・プログラム。

入学当初から全員参加で混成グループを形成。両学科の全教員も参加し、さまざまな活動に取り組みます。社会的スキルを身につけたり、教えることの楽しさと難しさを実感したり、ゲームを通して人間関係を深めたり、進路をともに考えたり。仲間とともに集い合い、自分たちの可能性を発見するプログラムです。

Pick Up
ゼミ

児童教育学科
今川 峰子ゼミ



[研究テーマ]

子どものニーズに応じた
心理・教育的支援に関する研究

4週間の小学校実習を体験し、皆が教師になる夢を強く抱き始めました。「子どものニーズに応じた支援」をキーワードに、教師を目指して頑張っています。

学生一人ひとりが社会をつくる！

中部大学ボランティア

NPOセンター活動報告

学生自身によるボランティア活動団体としてスタートした「中部大学ボランティア・NPOセンター」の活動も、今年で7年目を迎えました。めまぐるしく変化する地球社会で、自らが主体的に考え、行動する地球市民として成長していくことをミッションとして日々活動中。ここでは、最近おこなわれた各プロジェクトの活動の概要についてご紹介いたします。

ボランティア活動を
促進するプログラム

+

ボランティア
リーダーの養成

中部大学ボランティア・NPOセンターは、建学の精神である「不言実行、あてになる人間」を、学生自身が行、実践し、自立的、自発的に行動できる人材の育成をめざして、「ボランティア活動の促進」と「ボランティアリーダーの養成」をおこなっています。

ボランティア活動を促進するプログラム

告知 (パンフレットの配布)

4月におこなう新入生オリエンテーション時に、全学部学科の新入生を対象にパンフレットを配布しています。



説明会

ボランティア活動を始める前に、ボランティア・NPOセンターの目標や活動の種類、内容について説明しています。



1日体験プログラム

ボランティア活動を実際に1日で体験する企画を、プロジェクトごとにおこない、活動について学ぶ機会を提供しています。



ボランティアリーダーの養成

社会に求められる人材を育成するには、ただ社会貢献をするだけでなく、社会が何を必要としているのか認識することが大切です。より実践的なボランティア活動をおこなうためには、各々の行動特性を分析し、評価する必要があります。そこでコンピテンシー(行動特性)による評価を実施し、個人の行動特性を高め、社会に適應できる人材(社会的企業家)を育成します。

共感的な 「心のバリアフリー」を 目指して

日本の高齢者・障がい者の数は増加傾向にあり、超高齢化社会へ移ると同時に、障がいの重度・重複化が進み、障がいを持っていることを理由とした差別・虐待・いじめなどが社会問題として浮上しています。社会福祉プロジェクトでは、社会における差別・偏見をなくしていくことを目的として、「心のバリアフリー」を世間に広めていき、ノーマライゼーションした社会の実現を目指しています。21年度は、交流活動として、心身障害者コロニーこぼと学園を訪問し、パソコンの補助や散歩ボランティアを実施。また、学内のチャリティーコンサート実行委員会と協力した募金活動や、さらに啓発活動として、思いやりの心を育むことを目的とし、勉強会や講座等へも参加しました。

Pick Up EVENT



活動名:こぼと学園でのボランティア活動
日時:平成20年6月～現在
場所:愛知県心身障害者コロニー こぼと学園
【活動内容】

重症心身障害者を対象としたパソコンボランティアを実施。施設利用者に対して何でも「してあげる」のではなく、主体的に取り組めるように自立支援をしていく。

体験することをきっかけに、 ソーシャルスキルの 習得を目指した 教育活動の展開

昨今の子どもたちは、異年齢間での外遊びから、室内での限られた子ども間での遊びへ変化しており、人間関係の希薄化が懸念されています。社会教育プロジェクトでは、現代の社会では学ぶことが難しくなってきた青少年のソーシャルスキルを習得するための場作りを提供。たとえば、子ども向けの体験型学習として、「遊びを学ぶ」をテーマに、遊びを通して学ぶ楽しさを知ってもらう「学びの森」を開催したり、地域社会と連携した地域教育として「春日井まつり子ども企画委員会」に参加したりしています。学生は、このような場に参加することが各々の思いを表現する場となり、自分の意思を伝えることの大切さを学ぶことができます。

Pick Up EVENT



活動名:学びの森～2009～
日時:平成21年11月1日(日)
場所:三浦幸平メモリアルホール
【活動内容】

学生が子どもたちにおこなった体験学習を通じて「学ぶ」ことの楽しさを知ってもらい、希薄になりがちな異世代間でのコミュニケーションを図った。

国際交流の発展と 地域と連携した 国際理解教育の 推進に向けて

戦争や環境破壊、経済格差など、学生がこれらの課題に直接的な関わりで解決に導くのは非常に困難ですが、地域で起こっている国際的な問題を解決する可能性はあります。国際理解プロジェクトでは、国際交流の発展と地域と連携した国際理解教育を推進していくために国際理解活動に関心を深め、その理解力の向上を目指して活動しています。21年度は、前年度から始めている地域と連携した国際交流・協力のワクチンキャンペーンを実施しました。事前に目的や世界の現状に関する学習会を開き、意識を共有。春日井市内近郊の小中学校を中心に、活動の趣旨を伝え国際理解の普及につなげることで、ペットボトルキャップを約40万個も集めることができました。

Pick Up EVENT



活動名:ワクチン支援活動
日時:平成22年6月30日(水)
場所:クラブハウス棟
【活動内容】

ワクチンを送るために大学内、春日井市内などから集まった40万個ほどのペットボトルキャップのシールはがしを実施し、身近にあるものでできる国際支援に触れた。

環境プロジェクトの ネットワーク構築

環境対策プロジェクトでは、五感で自然を実感する「自然体験」を通じた学習をおこない、現代の環境問題について「食農体験」「環境学習」「自然保護」の分野から、さまざまな対策に取り組みでいます。食農体験分野では、前年度以前から継続していた「親子田んぼ体験」の実施、環境学習においては、春日井少年自然の家を利用して行った「子ども自然体験キャンプ」の実施、自然保護分野では、学内の自然調査などをおこないました。今後、さらなるボランティアネットワークの構築による幅広い環境対策アプローチをおこない、今年度幅広い活動をさらにつなげて、エリア拡大や環境対策に特化した展開など、広い視野で活動していくことを目指します。

Pick Up EVENT



活動名：親子田んぼ体験2010
日時：平成22年6月12日(土)9:00~15:30
場所：中部大学 環境水田
[活動内容]

大学周辺地域の親子と学生と一緒に稲の苗を1本1本手で植えることでお米の恵みを肌で感じ、異世代交流や現代の食と農について考えた。

大規模災害 「東海大地震」に備えた ボランティアネットワークの 構築とその運用

本プロジェクトでは、阪神淡路大震災の教訓をもとに、大学生を中心とした「協力し合い」「助け合い」のための関係づくりを目指しています。特に東海大地震に対する備えをする上で、個々の自発的な行動を促進しながら、平常時より災害に対する情報交換や学習活動を通じて救援活動のスキルの習得や実践的な防災訓練を進めています。21年度は神戸へ研修に行き、阪神淡路大震災の72時間起こったことに着目して、実践的な訓練にどう活かせるかを議論。そこから大規模災害時を具体的に想定し、避難所運営での課題を示して、いつ、誰が、何を、どのようにおこなうべきかを重視し、できるだけ混乱を少なく円滑な避難所運営をおこなえることを目標に活動しました。

Pick Up EVENT



活動名：まなぼうさい〜ちびっこ防災隊2010! 出動!!
日時：平成22年4月24日(土)13:00~16:00
場所：白山運動公園
[活動内容]

子どもたちを対象とした防災意識啓発活動としてワークショップを実施。体験型学習を通して災害時に備えた地域との連携を見据え、地域とのコミュニケーションを図った。

「市民が積極的に 参加できる社会」を目指した まちづくりの展開

市民のまちづくりに対する意識が高まり、多くのボランティア・NPO団体が、まちづくり活動に参加するようになっていきます。そこで、まちづくりプロジェクトでは、国内外の先進的なまちづくりや地域活性化の事例を調査し、ボランティアやNPOによる社会貢献活動について研究。また、地域社会のコーディネート力を高め、行政や地域団体と連携を図ることで、地域の結びつきを強化しています。特に平成19年から継続的に参加している「春日井まつり企画運営委員会」では、行政や市民団体と連携を強化し、まつりを通して春日井の活性化に向けたまちづくり活動を実践中。学生が直接まちづくりに参加することで、若い世代の意見が反映できると考えています。

Pick Up EVENT



活動名：春日井まつり
日時：平成21年10月18日(日)
場所：春日井まつり会場
[活動内容]

「見せるパレード」をコンセプトとして、パレードの運営に協力。踊りやまつりを通して、人や地域のつながりを深めていき、春日井の活性化を目指して活動した。



チャレンジ・サイト活動報告

代表指導担当

工学部 機械工学科
行本 正雄 教授

今年度は、昨年度に外部講師の助言などをもとに、DMEとBDF（バイオディーゼル燃料）の混合燃料を作製し、発電機で燃焼実験をおこないました。狙いは、発電機での実験を通して、自動車での走行のための検討をおこなうこと。燃焼実験では、混合燃料を燃焼させるために発電機の改造をおこない、PM（黒煙など）やNOxの排出量を軽油に比べて減少させることができました。今後は、自動車走行のために、燃料タンクの大型化や燃料の加圧方法、燃料ホースの耐圧化などを検討していく予定です。

DME（ジメチルエーテル）自動車を走らせよう!



ジーブと発電機を改造



代表指導担当

工学部 機械工学科
佐伯 守彦 准教授

ロボットコンテストに参加可能な新型ロボットを開発し、各種大会や国内外の大会でも上位を目指すことを目的に活動している「ロボットチャレンジ」。2009年度は、毎年参加している「ロボカップジャパンオープン」や「ETロボコン」に加えて、書類審査を通過することで出場権が得られる「ロボカップ世界大会」にも挑戦することができました。出場した小型リーグでは予選落ちという悔しい結果に終わりましたが、開催地のオーストリアのグラーツという場所ので、世界の技術を見ることのできたのはとてもよい経験になりました。

ロボットチャレンジ



開発したロボットを前にして撮影

代表指導担当

人文学部 コミュニケーション学科
齋藤 宏保 教授

全国各地の映像コンクールにビデオ作品を出品し、最高のグランプリ受賞を目指して活動中。企画立案の仕方やアポイントの取り方、リサーチの方法、構成台本の作り方、それに基づく取材・撮影・編集スキル、ナレーションについて実践的に学び、映像表現の大いなる可能性に挑戦しています。今年も、昨年に引き続き「飛騨高山ドキュメンタリー映像祭」に9作品を出品。その内の1作品が、国内外からの出品作品100点中、学生部門の審査員特別賞に選ばれました。今後も数々の映像コンクール入賞に向けて制作してまいります。

全国各地の映像コンクールのグランプリ獲得作戦



映像編集には編集機と編集ソフトを使います

代表指導担当

工学部 建築学科
山羽 基 教授

再生可能エネルギーで生活するために
前年に実験用の建物として建築した「エコハウス」。今年は、温度等を測定する計測器の電力も自然エネルギーを利用したいと考え、バイオディーゼル発電に加えて、太陽光発電と風力発電のハイブリッドシステムの設置と実測をおこないました。結果は、照明やテレビは風力・太陽光から、エアコンはひまわりの種から搾油したバイオ燃料を使ったディーゼル発電機から電力を供給できました。しかし風力はほとんど発電せず、太陽光でも豆電球が数十分程度で、計測器は自然エネルギーでは動かさないことがわかりました。

再生可能エネルギーで生活するために



ひまわり畑と風力発電機の取り付けの様子など

学生主体の調査・研究活動を支援するチャレンジ・サイト。

今年で5年目を迎え、ますますの成長を感じる成果をあげています。

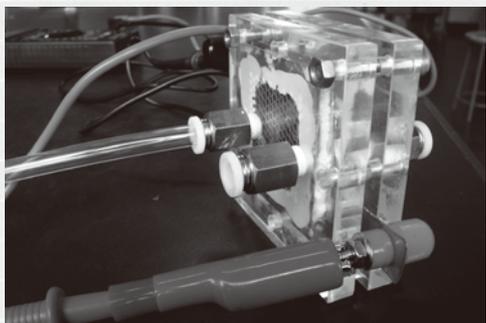
ここでは、2009年3月におこなわれました報告会から、

全8プロジェクトの活動内容の一部をご紹介します。

代表指導担当

工学部 応用化学科
今枝 健一 教授

本プロジェクトの目的は、市販の1kW級燃料電池を装備したプレハブ製のラボハウスを設計し、実際にそのラボハウスで宿泊してエコライフを体験すること。今年は、前年の課題であった燃料電池の確保から始めましたが、メーカー等から電池を買うことができないことが判明し、単セル作製に目的を変更。そこでリン酸塩型燃料電池を自作して実験をおこないました。結果は、最大0.8Vの電圧を得ることに成功。市販の燃料電池の単セルの電圧が0.9〜1.0Vですので、電極を改善することで0.9V以上を達成できることがわかりました。



単セル燃料電池

1kW燃料電池による エコライフを考えよう！

代表指導担当

応用生物学部 環境生物科学科
南 基泰 教授

今年度は、恵那キャンパス内に生息するアカネズミの遺伝的多様性保全について評価を実施。アカネズミについては、「生息地の植生の相違が、個体数や遺伝的多様性にも影響するのかもしれない」という仮説を立て、異なる3つの植生ごとに捕獲調査をおこない、個体数およびミトコンドリアDNA多型(ハプロタイプ)を検出し、遺伝的多様性を評価しました。その結果、落葉広葉樹二次林で個体数、ハプロタイプ数が共に多く、落葉広葉樹二次林の保全是、アカネズミの個体数、遺伝的多様性維持に必須だと考えられました。



アカネズミ(里山、二次林の代表的な小型哺乳類)

中部大学恵那キャンパスの バイオマップ作成

代表指導担当

人文学部 歴史地理学科
山元 貴継 准教授

今年度は、前年の学会発表の際に疑問としてあげられた「観光バス」の動きに着目して調査を実施しました。自家用車について確認された内宮周辺のみの観光にとどまる素通り傾向は、観光バスでも同様かという問題意識のもと、バスツアーは市内をどう回っているのかを、7箇所(調査地点)を設置して、ナンバープレート情報を収集。その情報をデータベース化して分析しました。その結果、伊勢に来た観光バスも内宮をほぼ訪れる一方、そのまま外宮や伊勢市内の観光地を素通りして、鳥羽市方面に向かう傾向が見られました。



▲伊勢神宮にて

調査中の風景▶

中部大生が 「伊勢」観光の課題に迫る

代表指導担当

応用生物学部 食品栄養科学科
根岸 晴夫 教授

今年の活動は、前年に開発した低アレルギークッキーの問題点の改善に力を入れました。主原料に米粉を使用し、生地にまとまりがなかった昨年に比べて、今年は米粉と加工デンプンを使用。そうすることで、まとまりがあり、しっとりとした生地をつくることができました。また、昨年はすべての工程が手作業でしたが、今年は機械生産することにも成功。さらに味のバリエーションも検討し、30種類の試作から、その内5種類を厳選。もちろんアレルギー分析もおこない、アレルギーが検出限界以下であることも確認しました。



児童向け低アレルギークッキー 「こめっき」の開発

学生生活 バックアップ

中部大学では、学生たちが4年間の充実した大学生活をおくれるように、さまざまなバックアップ体制を用意しています。学習意欲を高めるサポート体制はもちろん、問題を抱え、不安や悩みを感じている学生の相談にのる専門のカウンセラー、多彩な留学・海外研修プログラムを用意した国際交流センターなどにより、学生たちの充実したキャンパスライフを支えています。

学生課1号館1階

奨学金制度

■中部大学独自の奨学金

奨学金名称	種類	金額	期間	対象年次	採用人数	備考
育英奨学金	給付	30万円	1年	2年次以上	各学年80名	成績、人物とも優秀な学生
スポーツ・学術奨励奨学生	給付	10万円単位で学費相当額まで	1年	2年次以上又は大学院に在籍している学生	20名以内	健康でかつスポーツおよび学術等で優れた成績をあげた学生。自薦・多薦ともに可
同窓会育英奨学金	給付	10万円	1年	2年次以上	200名以内	健康でかつ学業、人物とも優れている学生
同窓会リーダー育成奨学生	給付	年額50万円を上限として10万円単位で支給	1年	2年次以上又は大学院に在籍している学生	毎年度はじめの大学が定める人数	学部、学科の諸行事や課外活動、ボランティア等において、リーダー役として特に活躍しており、卒業後も引き続き社会貢献等の活躍が期待できる学生
貸費奨学生	貸与	20万円以上、10万円単位で学費相当額まで	1年	3年次以上	毎年度はじめに大学が定める人数	家計支持者の倒産、離職等で家計が急変した場合に選考。在学中は無利息、卒業後は10年以内に返還(有利子)
特別貸費奨学生	貸与	30万円	1年	3年次以上	50名以内	3・4年次成績上位15%以内で本学大学院進学希望の学生より選考。本学大学院前期課程を修了し、修士号を取得した学生は返還免除。返済の場合は貸費奨学生と同条件

■日本学生支援機構の奨学金

奨学金名称	申し込み	対象年次	支給金額	備考
第一種	4月の申し込み説明会※に出席すること	全学年	[自宅外通学]月6万4千円又は3万円から選択 [自宅通学]月5万4千円又は3万円から選択	卒業後に返還(無利子)
第二種		全学年	3万、5万、8万、10万、12万円から選択	卒業後に返還(有利子)

※申し込み説明会の詳細については、キャンパスプラザ内の奨学金掲示板にてお知らせします。

学生の学ぶ意欲と充実した大学生活を支えるために、各種奨学金制度を設けています。大学独自の制度と、日本学生支援機構の制度の二種類があり、人物、学業ともに優秀かつ健康な学生、経済的理由により修学に困難がある学生等を貸与の対象にしています。

学生相談室



佐藤枝里先生(左)・桐山雅子先生(右)

■利用案内

受付時間

毎週月曜～金曜日
午前10:00～午後5:00

利用方法

中部大学生なら誰でも利用可。関係者(保護者等)も利用できます。直接、相談室に入室または予約。相談の内容に合わせて担当者や機関が対応します。

自分探しグループ

「自分を見つけよう!新しい自分発見の旅」というテーマで開催される、自己理解・他者理解のためのプログラムです。

ボランティア活動の紹介

ボランティアに興味はあるが、どのようにはじめたらよいのかわからない学生に、さまざまな活動を紹介しています。

図書の貸し出し

臨床心理学に関する書籍、最近のベストセラーなどの蔵書を貸し出しています。貸出期間は2週間です。

新入生のための健康チェック

恵那研修で事前に行う質問紙調査をもとに、新入生の呼び出し面接を実施し、新しい環境への適応支援をしています。

学生相談室では、学生生活を送る上でのさまざまな問題、悩み、心配事についての相談を受け付けています。カウンセラーと一緒にじっくり話し合い、解決の糸口を探ります。

国際交流センター

ランチタイムの国際交流

毎週木曜日の昼食時に国際交流プラザで開かれる「D・I・テーブル」。多くの留学生と日本人学生が一緒にお昼を食べる中で、さまざまな出会いや交流が生まれています。自由参加ですから、毎週多くの学生が参加。海外に行ったことのある人はもちろん、行ったことはないけれど、異文化交流に興味があるという人の第一歩として、また、友人の輪を広げたい人におすすめです。



留学と単位について

中部大学の留学・研修制度は、派遣先で取得した単位が中部大学の単位として認められ、休学することなく4年間で卒業することが可能です。学部・学科・専攻によって認定できる単位数が異なるとともに、カリキュラム上、留学・研修に参加することが難しい学年もありますので、入学時から、指導教授とよく相談して、留学・研修と単位履修計画を立てることをお勧めします。

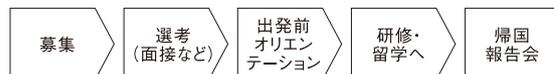
国際交流センターでは、留学相談や派遣・研修留学の申し込みができます。留学前にはオリエンテーションがあり、サポート体制も万全です。留学説明会(4月、9月)や、留学経験者、卒業生、留学生を招いたイベントもおこなっています。また、留学生と自由にコミュニケーションがとれる空間でもあります。

交流校名

オハイオ大学、ウェストバージニア大学、ハワイ大学(アメリカ)、ニュージーランド大学(オーストラリア)、オックスフォード大学、エンサーブ・マトメカ(フランス)、外交学院、ハルビン理工大学、華東師範大学(中国)、圓光大学(韓国)、グアナフアト大学(メキシコ)、マレーシア科学大学(マレーシア)、ガジャマダ大学(インドネシア)、ピトース・マグナス大学(リトアニア)、イェナ大学(ドイツ)など



■研修・留学までの流れ



父母インタビュー

やっぱり気になるわが子のこと

時代が流れるスピードは速く、子どもたちを取り巻く環境も1年で大きく様変わりしている近年。そんな時代でも、変わらないのが、親が子を思う気持ちかもしれません。大学生のいまだから伝えておきたいこと、やっぱり気になる将来のこと、「父母との集い」に参加された方々にお話を聞かせていただきました。

このインタビューは、平成21年度「父母との集い」に出席された方からのお話をまとめたものです。ご協力ありがとうございました。

※お名前の上の表記は、取材時のご子息・ご息女の学部学科学年です。



わが家は、主に地質調査などをおこなう土木・建築系の会社を営んでおり、息子に家業を継いでほしいと思っています。息子は親の背中を見て育つと言いますから、息子も私たちを観察しながら、一生懸命やっているけれど儲かっているのかな(笑)とか、時流に合っている業種なのかとか、いろいろと考えているのではないのでしょうか。中部大学は息子が選んだ大学ですが、そもそも私は、コンクリート分野で有名な先生が在籍されている中部大学で学んでほしいと考えていました。会社を経営するともなれば、さまざまな困難があるでしょうから、社会に出てからも何かと相談できる人脈を大学で築いてほしいと思います。資格取得については、ぜひ宅地建物取引主任者を取得しておいてほしいですし、息子も「ここまでやれば測量士補の資格がとれる」などと話すようになり、将来に向けていろいろな挑戦を考えている様子です。また、私の実感として、これからの

1	工学部 都市建設工学科 1年のこの両親	高須様
	家業を継ぐ前に、 大学で多くのことを 学んでほしい。	

娘は高校まで中国で育ちました。日本に来てすぐにいろんな大学の資料を取り寄せた中から彼女が選んだのが、中部大学のコミュニケーション学科です。マスコミ業界に興味があり、大学では番組づくりなどに取り組んでいると聞いています。宿題が多いのでしょうか。家では部屋に閉じこもってパソコンにかじりついてばかり(笑)。勉強が忙しくて、サークル活動もアルバイトもしていませんが、楽しくやっているようです。ただ、親としてはやはり就職が気になります。今日の「父母との集い」でも、就職に関するお話を興味深くお聞きしました。でも、就

2	人文学部 コミュニケーション学科 1年のこの両親	斉藤様
	親としては就職が 気になるけれど、 まずは勉強を頑張ってください。	

商売にビジネス英語は欠かせません。2年くらいは留学して、生きた英語を身につけたらどうかと思っています。短期留学で取得できる単位や資格について知りたいので、今日は国際交流センターを訪ねて、オハイオ大学のことなどをいろいろと聞いてみるつもりです。

職実績にコミュニケーション学科の学生が志望するようなマスコミ関係の企業名が目立たなかったのが、ちよつぱり気がかりです。人気職種ですから、狭き門なのでしようね。そのうえ、この不況です。これから社会に出る若者は分が悪いと思います。娘は日本での就職を希望していますが、昨今は大卒でも希望の職種に就けるとは限りません。中国での就職は、もつと厳しいのではないのでしょうか。とはいえ、まだ1年生ですから勉強が第一。努力の結果として就職先も定まってくると思うので、今はとにかく勉強を頑張つてほしいですね。

3	国際関係学部 国際文化学科 1年のこ両親	河村様
	息子の大学生活を 見守ってくれる 先生に感謝。	

息子が大学に入学してから半年が経ちました。高校までは口うるさくあれこれ言っていた私たちも、大学生になってからは本人にまかせつきり。ところが、自宅に届いた成績表を見てみたら、「あれ？大丈夫かな」と思わずにいられない内容で(笑)。大学では、先生に個別

でお話を伺う機会なんてないだろうと思つていたのですが、個別面談なら直接お話しできると聞いて参加しました。個別面談でお会いした先生は、AO入試を担当してくださった方で、息子とはかれこれ1年のおつきあいになる先生。

息子の大学での様子をしっかりと把握されていて驚きました。決して積極的とは言えない息子の性格を理解してくださつており「発表が得意です。でも、自分の意見を主張するのは苦手なようです」なんて鋭い分析には思わず納得。息子がこれからの人間として成長していくのか、社会人を目指してどのように変わることができるか、という前向きな内容の話もできました。これからの心配は尽きませんが、今日は先生にあるのままの思いを打ち明けることができ、ほつとしています。

4	応用生物学部 食品栄養科学科 3年のこ両親	末松様
	志を抱いて 社会へと 飛び立ってほしい。	

父母との集いには、毎年参加しています。これまでは、学長先生が教育論

を熱く語る様子に家庭的な雰囲気を感じましたが、今回は少し趣向が変わりましたね。レジュメを利用した説明になり、スクリーンに映し出される資料を見ながら聴きました。わかりやすくて良かったです。今回の私たちの関心事は、リーマンショック後の不況が大学生の就職にどのように影響するのかということ。全体会で聴いた限りでは、ニュースで聞く以上に厳しい状況のようですね。娘には、もう二十歳を過ぎたのだから、自分のことは自分で決めなさい

と言っていますが、就職については心配しています。娘は消極的なタイプで、これまで自分の小さな世界の中で満足しているようなところがありました。それが大学3年生ともなると、さまざまなる人との出会いを経て、「世の中には、いろんな人がいるんだなあ」と話すように。親としては、まだまだ心配事が山ほどありますが、社会に飛び立つにあたっては、何より志を大きく持つてほしいと思つています。つらいことがあつて潰れそうな時、自分を支えてくれるのは志です。自分の利益だけではなく、みんなのため、社会のために貢献できるような志ある社会人になってほしいと願つています。

5	国際関係学部 国際文化学科 3年のこ母様	濱口様
	個別面談で 不安な思いを 解消できました。	

3年生になった娘のことを相談したくて、個別面談に参加しました。親というものは、子どもにあれこれと期待したり、要求したりしてしまふものですよ。私も、「こんな資格を取ったらどう？」「検定にチャレンジしてみたら？」などと、思いつくとどんどん勧めてしまいます。娘が耳を貸すのは3回のうち1回くらいなので、それくらい言つても大丈夫だろうとは思つていますが、正直なところ心配でした。それを先生に打ち明けたところ、「そういうやり方もいいですね」と笑つて肯定してくださいました。なんです。なんだか自信がきました。それに、先生が娘の大学生活を細かい点まで観察してくださつていて驚いてます。思わず「そうそう、あの子はそんなタイプ」と言つて、顔を見合せて笑つてしまったくらい。娘が楽しい大学生活を送つていることも確認できて安心しました。いろいろとご相談できたおかげで、これからの就職活動も親子で頑張つてい

けそうです。今夜は、娘の下宿先に泊まる予定。早速、今日のことを伝えたいと思います。

6	工学部 電子情報工学科 1年のご両親	片岡様
---	--------------------------	-----

大学院について
知りたくて個別面談に
申し込みました。

今日は、当時高校生だった息子と二緒に来たオープンキャンパス以来の大学見学です。広いし緑も多くて、学ぶ環境として最高の場所だと改めて感じました。息子はまだ1年生ですが、全体会の話では、就職の厳しさを実感。今後相当な支援プログラムがあることを知ることができたので、こちらから徐々に言っていくのではなく、こちらから感じました。一般入試ではなかった息子は、受験の波にもまれていないので、勉強についていけるか心配もありましたが、成績表を見て「よかった」と言っているのを見ると、「頑張っているんだな」と少し安心しています。今日の一番の目的は、個別面談。息子は大学のことを気に入っており、大学院まで行きたいと言っているのです、大学院についての情報を聴きたいと思っています。

7	人文学部 コミュニケーション学科 3年のご両親	加藤様
---	-------------------------------	-----

大学の雰囲気や
就職サポーターが
よくわかりました。

夫婦そろっての「父母との集い」への参加は初めてでしたが、意外と周りに両親の参加が多くて驚きました。前回参加させていただいた時もそうでしたが、大学から案内があると参加しやすいですね。参加することでキャンパスの雰囲気もわかりますし、よい機会だと思います。

全体会の話では、就職に対するバックアップのプログラムがたくさんあることに驚き、大学側も、一人でも多くの学生が就職できるようにサポートしていることがわかりました。あと、今日いただいた資料に、「Let's Challenge」という小さな冊子が入っていました。私たちが親にもわかりやすく取り組みが紹介されているなと思います。ゼミやサークルに入れば、そこでの友人ができますが、ほかにもさまざまな取り組みに参加することで、幅広いつながりが持てますからね。娘は、大学での出来事を多くは語りませんが、どうやら仲の良い学科の友人同士で、友人の誕生日にみんな

ケーキやお菓子をつくって学食でお祝いしているようです。友人を大事にして、友人のために一肌脱ぐのはいいことだと思っています。時々「こういうものをつくりたいのだけど、材料ある？」なんてメールが来ることも。そんな風にメールで会話することで、大学での様子が少しわかりますね。

8	応用生物学部 環境生物科学科 1年のご両親	新家様
---	-----------------------------	-----

一生の財産となる
良好な人間関係を
築いてほしい。

会報誌「信頼」の父母インタビューを

読んで、「社交性を身につけてほしい」というご意見に共感しました。今日の先生のお話でも「今の学生は自分に自信を持ってない」「コミュニケーションが苦手」とおっしゃっていましたが、そういうことを克服するように、同学年の友人だけでなく、年上の人などとの人間関係も築いてほしいです。学生時代に得たものは、一生の財産ですからね。数が多いければいいというものでもありませんが、自分のことを本当にわかってくれる、お互いをわかりあえる友人をつくってほ

9	経営情報学部 経営情報学科 3年のご両親	山本様
---	----------------------------	-----

実際に足を
運ぶことで見えてくる
大切なこと。

いま大学へ通っている次女に加えて、

長女も中部大学でしたから、今回で「父母との集い」は6回目の参加です。入学式や大学祭なども数えればもつと大学へ来ていますね。初めての参加の時は、大学の様子がわからなかったのですが、全体会が主目的でしたが、今日は就職の話を中心に聞いていました。私たちが最初に参加した頃は、学外から講師を招いた講演会があり、その時の話がとても面白くて、次回も必ず来ようと思ったことを覚えています。その後、講師が学内の先生になり、講演

会そのものがなくなってしまうのは残念ですね。

これだけ大学へ来ると、どこに何があるのかも少しはわかるようになりました(笑)。新しい学部棟ができていく様子や、カレー屋さんが違う店に変わっていたり……。娘からは「新しくパン屋ができたよ」と聞いたりもしましたが、このような話も来年で終わりだと思うと、少しさびしい気もします。実は一時、3人の子どもを大学へ通わせていた時期があり、「下宿は無理だからね。辞めたければ辞めてもいいんだよ」と言いました。でもなかなか辞めない(笑)。今日も車で2時間くらいかけて自宅から来ましたが、娘も毎日よく通っていたなと思いました。

また、私たち親も大学へ実際に来なければわからないこともあります。「信頼」や「ウプト」などの情報誌などで、先生方の顔は拝見しています。でも写真だけではわかりません。やはり実際にお会いして、顔を見て、声を聞いたりして、こんな先生から学んでいるんだなということが初めてわかりました。娘の学生生活もあと1年。来年も必ず「父母との集い」には参加します。その頃には就職が決まっていればいいのですが。



10	生命健康科学部 保健看護学科 1年の二両親
	蜂谷様

できるだけ多くの
自分とは異なる価値観や
考え方を吸収してほしい。

今回の「父母との集い」に参加したのは、娘が在籍している保健看護学科が、開設されてからまだ卒業生を輩出していないことや実習などをおこなう付属病院がないことに対して若干の不安があったから。今日お話を聞いて、しっかりとした対応策を考えていらして、不安に感じていたことは杞憂だったと、胸をなでおろしているところです。

娘は一人暮らしにも慣れて楽しく過

ごしているようです。友人もたくさんできたようです。大学に入ってから、私たちに對して少しやさしくなりました(笑)。やはり、一人暮らしをして、その大変さを理解してきたのでしょう。親が心配していることも十分に感じているようです。娘には大学の4年間でいろいろな人と交流して幅広い視野を身につけてもらいたいと思っています。他の人と交流する中で、自分にはない価値観や考え方をできるだけ多く吸収してほしい。それが社会に出てから必ず役に立つはず。アルバイトやサークルをやっていないようなので、それも勉強だと思つて、積極的に輪のなかに入っていくってほしいと思います。

11	現代教育学部 児童教育学科 1年の二両親
	T様

大学に入学してから
息子に目に見える変化が
表れています。

入学前に一度、「父母との集い」に参加していますので、今回で2回目の参加となります。実は、息子は小学校低学年の時のいじめが原因で不登校になり、小学校はもちろん中学もほとんど学校に

は行けない状況でした。ただ、高校の2年生になった時の担任の先生がつきつきりでフォローしてくださって、それから少しずつですが、学校へも行けるようになりました。これがかきつけとなったのでしょうか、息子に将来について聞くと「教員になりたい」と。後で聞いた話ですが、「いじめられている時は、誰も助けてくれないという孤独感でいっぱいだった。自分が経験したような辛い思いを子どもたちにさせたくない。だから教員になりたい」と。このような経緯があり、まだ高校生でしたが、現代教育学部のある中部大学の「父母との集い」に参加させていただいたのです。

大学に入学してから息子に目に見える変化がありました。それは服の色。高校時代は白と黒しか着なかつたのですが、最近ではオレンジやピンクと言った明るい色のシャツも着るようになってきました。あまりにも極端になったので「もう少し落ち着いた色にしたら?」と言うと、「大学ではこれでも地味な方だよ」(笑)。友だちにも恵まれて、少しずつですが変わっていくのを感じます。本当に中部大学に入学して良かったと思つています。欲を言えば、もう一歩踏み出して、サークルに入ったりして交友関係をもっと広げてほしいですね。さまざまなものを見聞きし、視野を広げ

ていくことも、大学に行く大きな意義の一つだと思いますから。

12	生命健康科学部 保健看護学科 1年の二両親	月岡様
	やる前から諦めない。 自分の信じる道を 歩んでいってほしい。	

全体会での話のなかで特に印象に残っているのはキャリア教育。私たちの時代は、良くも悪くも自分自身で考えるのが当たり前で、大学でキャリア教育をおこなうようなことはありませんでしたからね。時代が変わったこともありましたが、どこか少しさみしい気もします。ただ、保健看護学科は医療系に進むという目標も明確ですので、娘も将来について少なからず考えているのだらうと思います。

娘は所属しているラクロス部の活動でかなり忙しいようですが、国家試験合格という目標に向けて勉強も頑張っているようです。さらに、ボランティアや海外留学にも挑戦したいと言っているのですが、充実した学生生活を送っているのではないのでしょうか。ただ、親から見ると、まだまだ甘えがあるように感じます。

大学での4年間で自立した人間になってほしいですね。あとは、物事をやる前から諦めるのではなく、まずは自分を信じて歩いてほしい。そういう意味でも、興味のあるボランティアや海外留学に積極的にチャレンジするのは良いことだと思います。

今回初めてキャンパスを見学しましたが、緑も豊かで本当に良いところです。こういう環境で学べるのは幸せなことだと思います。うらやましい限りです。ただ、二つ気になるのはキャンパス内が禁煙ではないこと。すでに多くの大学では敷地内が全面禁煙になっています。医療系学部を抱える大学だからこそ、そういう部分の改革はしっかりとしていきたいと思っています。

13	人文学部 英語英米文化学科 4年の二両親	川島様
	就職への答えを 自分なりに導き出すと 信じています。	

娘も4年生になり、現在就職活動をしているのですが、思うようにいっていかないようです。いくつか内定をいただいているものの、自身のやりたい職種では

なく、活動を続けています。今日の全体会でも、今の厳しい就職状況について話がありましたし、親としては何とか早く決まっしてほしいと思っています。娘は英語英米文化学科ということもあり、子どもに英語を教える仕事がしたいと考えているようです。ただ、一口に英語を使う仕事といっても、どのように使うかによって業種も職種もさまざまです。もう少し視野を広げて就職活動をしてみると、と言っているのですが、やはりそこは譲れないようです。とにかく今は、自分が納得するまでやるしかないですね。特に英語は急に身につくものではなく、娘も英語が好きで頑張って勉強してきた、今のレベルまで達したわけですから、やはりその能力を活かせる場所があるのなら、親としてもそこで頑張っほしいという思いがあります。

娘は高校生の時、パンフレットにあるカリキュラムを見て、「この授業を受けた」という理由で中部大学を選びましたし、中学・高校で海外留学をしているのですが、その時も自分から行きたいと言ってきた。親の意見ではなく、常に自分の進路は自分の判断で決定してきたので、就職に関しても何らかの答えをしっかりと見つけてきてくれると信じています。



14	工学部 建築学科 2年の二両親	新谷様
	先生や親同士で 話がしやすくなるような 工夫を望みます。	

就職説明会に参加させていただきました。就職活動のスケジュールやプログラムがとてもよくわかって、親の私たちがやる気になりました(笑)。「就職合宿セミナー」もいいプログラムだなと思いましたね。そういったプログラムに参加しないと、子どもも就職モードになりませんから。でも先着順という話も聞いたので、タイミングよく申し込めれば良いなと思いました。

上の子たちも別の大学を出ていますので、他の大学でも、このような集いに参加したことがあります。その時は立食形式で、多くの先生と、就職をはじめとしたいろいろな話ができてうれしかったのを覚えています。実はそのような形式を想定していましたので、今日は少しさびしさを感じましたね。昼食もオーブンキャンパスのように、自由に選べるのかなと思っていましたが、割り弁当：でもこうしないとスケジュール通りには進行できないかと思いましたが、規模が大きいので難しいかもしれません。模が大きいので難しいかもしれませんが、たとえば、それぞれ参加者が名札をつけるだけで、お互いが話しやすくなったりしますからね。このような意見があることも知っていただき、改善してもらえたらうれしいです。

15

生命健康科学部
生命医科学科
1年のご両親

市瀬様

大学での生活を通して、
娘がどのように成長するか
楽しみにしています。

実家が長野ということもあり、電話と帰省してきた時以外は話すことも少ないのが現状です。今回は担当の先生方

から直接話を伺うことができるということで、娘がどのように大学生活を過ごしているのか知りたくて参加しました。先生の話聞き、娘が大学祭の実行委員など積極的に活動していることを知り、ひと安心しています。

娘は臨床検査技師になりたいと言っていますが、今日の話を聞く限り、国家試験も難しそうですし、大丈夫だろうかという思いはあります。ただ、今の時代、臨床検査技師のように職業に直結する資格は強いと思いますので、しっかり勉強してほしいですね。

大学に来るのは入学式以来二度目ですが、建物の中に入るのは今回が初めてでした。実験施設などを見せていただきましたが、設備も充実しており、学部には最高の環境だと感じました。さらに先生方も親身になって学生たちを指導してくださっていることが伝わってきましたので、あとは娘がこの素晴らしい環境のなかで、どう自分を成長させていくかですね。親としては、この4年間はどう成長してほしいというより、どう成長していくのか楽しみたいという思いの方が大きいですね。悪いことも良いことも含めて、自分なりにどう消化・吸収し精神面が成長するか、今から楽しみにしています。

平成22年度 「父母との集い」ご案内

ご子息・ご息女の大学生活を知っていただく絶好の機会です。とくに、新入生のご父母の皆さまには参加をおすすめしております。ぜひこの機会にご参加ください。

大学会場 / 中部大学体育館

11月14日(日) [対象学部] 全学部

プログラム	9:30~ 受付	
	10:00~ 全体会	学長あいさつ / 学生生活について / 就職の現状について
	11:30~ 学内見学・昼食	附属三浦記念図書館、茶室など
	13:00~ 学部別(学科別)説明会	教育方針等の説明 / 学科の先生方による個別面談(要申込) / 就職コーナー

13:30~ 下記場所にて各種相談を受け付けています。

- キャンパスプラザ1Fラウンジ
- 学生生活コーナー
- 入試相談コーナー(大学院・学部)
- キャンパスプラザ2F国際交流プラザ
- 留学相談

地方会場 [対象学部] 全学部

今年は以下の7会場で開催いたします。お申込みの上、お近くの会場へご参加ください。

<p>浜松会場 9月23日(祝) オークラアクティシティホテル浜松</p>	<p>高松会場 10月24日(日) 高松センチュリーホテル</p>	プログラム	10:00~ 受付
<p>金沢会場 10月2日(土) 金沢都ホテル</p>	<p>四日市会場 10月30日(土) 四日市都ホテル</p>		10:30~ 全体会
<p>岐阜会場 10月9日(土) 岐阜グランドホテル</p>	<p>松本会場 11月6日(土) ホテルエナピスタ</p>		12:00~ 昼食
<p>広島会場 10月23日(土) ホテルJALシティ広島</p>			12:50~ 個別面談

- [学部別説明会] … ご子息・ご息女が在籍する学部のことを詳しくお伝えします。
- [学内見学] … 広大なキャンパス内を自由にご見学いただけます。
- [全体会] … 大学のバックアップ体制をわかりやすくご説明いたします。
- [個別面談] … 各学科教員や就職担当者が直接お応えいたします。

専用ハガキでお申し込みされていない方は、ご希望の会場・期日を選び、事務局まで至急お申し込みください。

中部大学 後援会事務局 **TEL.0568-51-4745**

大学会場の開催日は、11月14日(日)です。ご希望会場・日時をお間違えないようお越しください。

両親へ

中学時代はたくさん迷惑かけてごめんなさい。まだまだ頑張らなくてはいけないけど、お父さん、お母さんが今まで文句も言わないでいてくれたから、今、私は自由に勉強することができています。本当にありがとう。そして、勉強頑張ります。

国際関係学部
国際関係学科2年 松岡 里奈さん



両親へ

今こうして充実した大学生活を送れているのも、お父さん、お母さんがいてくれるからです。悩んだりしているときは、言葉に出さなくてもわかってくれて、支えになってくれて、その存在があるからこそ頑張ることが出来ます。たくさん迷惑かけちゃうけど、これからもずっと私の心の支えでいてください。いつもありがとう。

経営情報学部
経営情報学科2年 N. Yさん

両親に贈る、感謝の手紙

両親へ

今までワガママな自分の世話をしてくれてありがとう。いろいろな面で迷惑をかけました。スイマセン。これからもヨロシクお願いします。

工学部
機械工学科4年 安田 直樹さん

一番近い「親子」という存在だからこそ、本当はきちんと伝えたい感謝の気持ち。今回は学生の皆さんに、日頃ご両親に照れくさく言いにくいことや、心で思っているがなかなか素直に口に出せない気持ちなどを伺いました。親子の数だけある、「ありがとう」の手紙。学生たちから両親へ、そして家族へ、心あたたまるメッセージをご紹介します。

※突然のインタビューにも関わらず、快くメッセージを書いてくれた学生の皆さん、ご協力ありがとうございました。「信賴」編集者より

POST CARD

両親へ

いつも口にしていないけど、感謝しています。無事に就職が決まったので、初任給で何か買います。楽しみにしててね。

経営情報学部
経営学科4年 S. Mさん



両親へ

私の父は、現在単身赴任で広島にいます。毎日、家族のために懸命に働いてくれています。母も毎日、家事や弁当づくりなどと頑張ってくれています。本当に両親には感謝しています。いつも怒られてばかりですが、将来的には親孝行して楽にしたいです。いつも本当にありがとう!!

人文学部
日本語日本文化学科1年 小林 亮輔さん



大好きな家族へ♡

わがままな私をずっと支えてくれてありがとう。離れて生活して、はじめて家族の温かさ、優しさに気づきました。お母さん…たくさん困らせて迷惑かけたのに、いつもどんな時もそばに居てくれてありがとう。ばあちゃん…これからは、私がばあちゃんを支えていくね。これからもヨロシクね。大好き♡

経営情報学部
経営情報学科2年 永森 愛美さん



お母さんへ

お母さんは、私の人生の師匠です。尊敬しています。

応用生物学部
応用生物化学科4年 坂江 香奈子さん



両親へ

お父さん、お母さん、いつもありがとう!!
楽しく大学生生活を送ることができ、感謝してます☆
これからも、よろしくお願いします。

応用生物学部
食品栄養科学科4年 飼鳥 晃代さん

両親へ

高校野球を経験して両親への感謝の気持ちを知りました。大学生活を無事送れるのも両親のおかげです。これから大学でいろいろなことを学び将来へ活かしていきたいと思います。

人文学部
日本語日本文学科1年 永家 裕喜さん



両親へ

一人暮らしをして、改めてお父さんとお母さんのありがたみを実感しました。恥ずかしくて普段は言えないけど、本当に感謝しています。ありがとう!! 沢山勉強して親孝行します。迷惑かけちゃうけど、これからもよろしくね。

生命健康科学部
生命医科学科3年 坂口 実悠さん



両親へ

大学進学させてくれてありがとう。感謝しています。

工学部
建築学科2年 阿形 秀太さん



両親へ

いつもいつもありがとう。こんなに大きく育ててくれてありがとう。いつも迷惑かけてごめんね。これからも迷惑かけるかもだけど、温かく見守っていてください。よろしくお願いします。大好きだよ!

人文学部
コミュニケーション学科3年 小島 麻奈美さん



お母さんへ

いつも保育の仕事や芝居の練習で家事が大変なのに頑張ってくれてありがとう。自分の不真面目さで実習に行けなくてごめんさい。これからは心配かけないようにします。

現代教育学部
幼児教育学科2年 小出 健太さん





平成22年度 中部大学後援会

役員会・評議員会

報告

平成22年5月1日(土)、名古屋駅前のキャッスルプラザにて、平成22年度中部大学後援会役員会・評議員会が開催されました。今年も役員、評議員の皆さまには大勢のご出席をいただき、すべての議事を無事進行、終了したことをここにご報告いたします。

本会開会にあたり、はじめに三浦後援会事務局長が後援会の歴史をご紹介。続いて佐々木会長が挨拶され、新役員の方々に協力を願うとともに、多くのご出席者へ感謝の言葉を述べられました。次に山下学長から、後援会による大学への多大な支援へのお礼と合わせて、大学の近況報告。その後、事務局から出席状況の報告と本会の成立が宣言され、慣例により議長に佐々木会長が選出され、各議案の審

平成21年度 後援会事業報告・ 決算報告



新会長・青山正史氏

第3号議案「役員・評議員の選出・委嘱」では、事務局より任期終了にともなう欠員が報告され、後任の選出がおこなわれました。新会長には、現副会長の青山正史氏を選出され、「皆さまのご助言をいただきながら、精一杯務めさせていただきます」とご挨拶がありました。その後おこなわれた役員委嘱

青山新会長をはじめ、 新副会長、 新監査が決定

議へと移りました。第1号議案である「平成21年度事業報告」では、緊急支援対策としておこなった秋の学内企業説明会への助成をはじめ、学園創立70周年記念特別援助金等の実施概要が報告されました。第2号議案では、「平成21年度決算報告(監査報告)」がおこなわれ、皆さまのご理解をもって異議なく承認されました。

では、副会長に宮田弘氏、監査に舟橋直司氏が新たに選出され、満場一致で承認。また、顧問には大西理事長をはじめとした10名の先生方が委嘱され、同時に欠員にともない幹事・評議員が委嘱されました。その後、第4号議案の「平成22年度事業計画案」、第5号議案の「平成22年度予算案」がともに審議され、皆さまの拍手をもって承認されました。すべての議事が終了後、記念事業寄付金の目録贈呈が青山新会長から山下学長へおこなわれ、山下会長からは、任期を終えられた佐々木会長と監査の松本氏に感謝状と記念品が贈呈。最後に、学長のお礼の言葉をもって本年度の後援会役員会・評議員会は無事閉会しました。



会長の任期を終えられた佐々木氏へ学長から感謝状が贈られました。

平成22年度計画

■平成22年度 事業計画

会員と大学との連絡をはかる事業

1. 会議の開催

- 役員会・評議員会及び懇親会
- 役員研修会
- 大学の先生方との懇親会

2. 「父母との集い」の開催

開催日	開催地	会場
9月23日(祝)	浜松	オークラアクティホテル浜松
10月2日(土)	金沢	金沢都ホテル
10月9日(土)	岐阜	岐阜グランドホテル
10月23日(土)	広島	ホテルJALシティ広島
10月24日(日)	高松	高松センチュリーホテル
10月30日(土)	四日市	四日市都ホテル
11月6日(土)	松本	ホテルブエナビスタ
11月14日(日)	大学	体育館(中部大学)

3. 出版事業

- 後援会会報「信頼」の刊行(全会員)

大学への助成

1. 教育・研究への協力
2. 就職活動に対する援助(学内企業説明会)

学生に対する助成

1. 課外教育活動に対する援助
2. チャレンジサイトへの援助
3. 就職活動に対する援助
(資格取得講座への補助、公務員試験対策講座への補助)
4. 奨学援助
5. 災害見舞金の給付

■平成22年度 予算書

収入の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越金	14,192,471	15,455,813	△1,263,342	
後援会会費	121,650,000	126,700,000	△5,050,000	平成22年度新会員2,433名 (@50,000×2,433名)
雑収入	60,000	160,000	△100,000	預金利息
合計	135,902,471	142,315,813	△6,413,342	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
助成金	98,925,000	100,400,000	△1,475,000	
記念事業寄付金	12,165,000	12,670,000	△505,000	平成22年度新会員2,433名 (@5,000×2,433名)
課外活動援助金	42,180,000	42,890,000	△710,000	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	24,330,000	25,340,000	△1,010,000	平成22年度新会員2,433名 (@10,000×2,433名)
就職活動援助金	10,750,000	10,750,000	0	学内企業説明会、 各種講座費用補助、 就職対策検定料補助
学生研究支援金	6,000,000	5,500,000	500,000	チャレンジサイト協力費
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,500,000	450,000	1,050,000	教育活動顕彰制度に対する援助
70周年記念特別援助金	0	800,000	△800,000	
事業費	23,200,000	22,200,000	1,000,000	
地区別後援会費	11,500,000	10,500,000	1,000,000	「父母との集い」案内作成費、 「父母との集い」会場費等
会議費	4,000,000	4,000,000	0	役員会・評議員会、 役員研修会、役員懇親会
印刷出版費	6,700,000	6,700,000	0	「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	1,000,000	0	
事務費	8,172,000	5,332,000	2,840,000	
通信運搬費	5,200,000	2,100,000	3,100,000	発送費、ウツ発送費、切手代等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	400,000	△100,000	封筒等
消耗品費	350,000	500,000	△150,000	コピー機保守料、事務用品等
旅費	20,000	30,000	△10,000	交通費
租税公課	2,000	2,000	0	印紙代等
雑費	300,000	300,000	0	弔電・供花、振込手数料等
積立金繰入	0	10,000,000	△10,000,000	定期預金
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
次年度繰越金	4,605,471	3,383,813	1,221,658	
合計	135,902,471	142,315,813	△6,413,342	

平成21年度報告

■平成21年度 事業報告

月日	事業概要
[平成21年] 5月 2日	●役員会・評議員会・懇親会(キャッスルプラザ) 平成20年度事業報告、決算報告/役員、評議員改選/ 平成21年度事業計画、予算審議
5月29日	●平成21年度「父母との集い」案内発行、発送(全会員)
7月11日	●役員研修会(キャッスルプラザ)
7月30日	●2008年度教育活動顕彰授賞式(チューデントホール) 後援会より教育活動振興支援費として援助(受賞者13名)
8月 4日	●中部大学後援会会報「信頼」第55号発行、発送(全会員)
9月23日	●「父母との集い」開催 大会会場/全体会、学内見学、学部(学科)別説明会、個別面談 松本、岐阜、四日市、静岡、博多、富山会場/全体会、個別面談
11月14日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業48社/学生参加者数290名
10月15日	参加企業23社/学生参加者数139名
10月16日	●学園創立70周年記念特別援助金(補正予算より) 中部大学体育館 舞台幕取替工事費用
11月18日	●中部大学茶道部20周年記念機関誌発行特別援助金授与
12月15日	●災害見舞金給付(11/25軽量鉄筋造2階建住宅半損による)
[平成22年] 2月17日	●役員懇親会(キャッスルプラザ) ●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業104社/学生参加者数1,459名
2月15日	参加企業102社/学生参加者数1,427名
2月16日	参加企業96社/学生参加者数1,153名
2月17日	参加企業154社/学生参加者数811名
2月24日	参加企業115社/学生参加者数713名
2月25日	参加企業80社/学生参加者数499名
2月26日	
資格取得講座・公務員講座補助 26講座 1,136名受講	
就職対策試験検定料補助 21講座 1,243名受講	

■「父母との集い」実施状況 参加者 1,549名

開催地	会場	開催日	参加者
中部大学	三浦幸平メモリアルホール	9月23日(祝)	1,276名
松本	ホテルブエナビスタ	9月27日(日)	12名
岐阜	岐阜グランドホテル	10月3日(土)	114名
四日市	四日市都ホテル	10月18日(日)	49名
静岡	ホテルセンチュリー静岡	10月25日(日)	58名
博多	博多エクセルホテル東急	10月31日(土)	10名
富山	名鉄トヤマホテル	11月14日(土)	30名

■平成21年度 収支報告書(平成21年4月1日より平成22年3月31日まで)

収入の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	15,455,813	15,455,813	0	
後援会会費	126,700,000	126,700,000	0	平成21年度新会員2,534名
雑収入	160,000	160,785	△785	預金利息
収入合計	142,315,813	142,316,598	△785	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
助成金	100,400,000	100,332,009	67,991	
記念事業寄付金	12,670,000	12,670,000	0	平成21年度新会員2,534名
課外活動援助金	42,890,000	42,878,200	11,800	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費
教育・研究協力費	25,340,000	25,340,000	0	平成21年度新会員2,534名
就職活動援助金	10,750,000	10,707,880	42,120	学内企業説明会 各種講座費用補助 就職対策試験検定料補助
学生研究支援金	5,500,000	5,500,000	0	チャレンジサイト協力費
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	450,000	435,929	14,071	教育活動顕彰制度に対する援助
70周年記念特別援助金	800,000	800,000	0	補正予算 (中部大学体育館「舞台幕」 取替工事代援助)
事業費	22,200,000	21,963,142	236,858	
地区別後援会費	10,500,000	11,897,285	△1,397,285	「父母との集い」案内作成、 「父母との集い」会場費等
会議費	4,000,000	3,494,912	505,088	役員会・評議員会、 役員研修会、役員懇親会
印刷出版費	6,700,000	6,500,945	199,055	「信頼」作成、取材等経費
災害見舞金	1,000,000	70,000	930,000	火災による家屋半損
事務費	5,332,000	5,028,976	303,024	
通信運搬費	2,100,000	2,082,854	17,146	発送費、切手代等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	400,000	207,000	193,000	封筒等
消耗品費	500,000	408,321	91,679	コピー機保守料、事務用品等
旅費	30,000	1,110	28,890	交通費
租税公課	2,000	1,000	1,000	印紙代
雑費	300,000	328,691	△28,691	弔電、供花、振込手数料等、 茶道部20周年特別援助金
積立金繰入	10,000,000	0	10,000,000	
予備費	1,000,000	800,000	200,000	中部大学ボランティア・NPO センター特別援助金として流用
次年度繰越金	3,383,813	14,192,471	△10,808,658	
支出合計	142,315,813	142,316,598	△785	

平成22年度中部大学後援会役員・評議員

■顧問

[理事長]
大西 良三

[学長]
山下 興亜

[副学長]
中島 泉
後藤 俊夫
小野桂之介

[学監・後援会事務局長]
三浦 昌夫

[教務部長]
足達 義則

[学生部長]
山田 公夫

[事務局長]
田中 豊茂

[事務局次長]
大西 信之

■会長

青山 正史

■副会長

岩田 修一
宮田 弘

■監査

小境 鎮則
増田 祥一郎
舟橋 直司

■幹事

小谷 哲司
稲垣 健一
高嶋 隆明
川合 祐雄
森田 和典
山田 裕己
三浦 義人
池山 哲雄
有賀 孝憲
鳥越 達生
浅輪 武志
廣畑 敦久
栗山 盛伸
小島 達哉
佐藤 渡
竹内 久樹
小野田 耕治
林 和宏
石田 俊則

馬場 弘
弓削 俊彦
今村 昭一
水田 克明
鎌田 浩之
横井 勉
横野 裕司
横山 幸典
高尾 助夫
中村 正和
立田 暢彦
加藤 浩
鈴木 邦尚
西澤 克美
佐竹 健一
伊藤 誠二
伊神 弘志
戸島 操
牧村 光晃
河合 喜彦
三宅 耕一
宮島 史明
片岡 久征
後藤 正博
西脇 斉
佐々木 毅
熊谷 基司
河野 高幸
秋田 和典
千賀 達也
青木 信行
庵 淳一

山本 常忠
鈴木 弘二
宮木 睦嗣
小寺 伸明
長谷川 雅文
新家 朋彦
加藤 登
古田 浩司
日江 井晃
伊藤 孝雄
谷口 明春
奥山 孝則
皆方 克夫
武藤 恒夫
中島 久英
長谷 治清
伊藤 誠
小澤 寿行
水野 直利
酒井 智康
杉野 哲司
福島 金治
小野 茂樹
永家 秀夫
長谷部 泰明
大岡 義和
稲垣 昌宏
杉本 富夫
久野 泰俊
國井 康弘
岡田 元
山根 満

木村 大介
鈴木 鎮雄
瀧川 靖
小澤 浩
西脇 義郎

■評議員

林 宏
大城 利一
鈴木 吉和
市野 義裕
吉田 義一
若杉 一良
黒野 明夫
阿部 満
坂江 章演
小塚 泰朗
奥野 勇
加藤 健二
安藤 猛
大地 開三
筒井 孝一
東山 喜徳
青木 雅淑
小山 邦壽
南 勝広
丹羽 日出男
柏谷 昭仁
田中 三千雄
梶野 秀夫
名倉 篤

武内 和敏
大田 康司
岩田 耕二
福井 徹
澁谷 康弘
植田 茂穂
胡桃 吉三
稲熊 成利
浅野 芳史
佐藤 美紀
鈴木 実
加納 哲也
長屋 保彦
井上 晴雅
西垣 博司
野田 嘉久
山内 啓祐
菅沼 嘉一
墨 寿人
浅井 博司
加藤 健二
樋田 俊裕
木村 則雅
新美 哲夫
村瀬 陽一
櫛田 義貞
渡邊 和実
田邊 潔彦
平野 政彦
長谷川 豊
棚田 雅人
山本 英俊

熊谷 俊和
神戸 正幸
鈴木 鉄次郎
梅村 英樹
朝倉 利浩
松山 宗平
前口 庄一郎
加藤 鉄男
作野 薫
林 勝久
東山 克芳
堀辺 克彦
上原 且資
岩城 高則
中田 一彦
武山 静
奥田 清人
金武 文博
高田 慶之
山本 浩司
速水 賀二
鈴木 裕一
松原 健司
三好 慎悟
毛受 昭彦
余吾 白井 博司

中部大学後援会会則

- 第1条 本会は中部大学後援会と称する。
- 第2条 本会の事務局は中部大学内におく。
- 第3条 本会は中部大学に協力し、大学を後援することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達するために、次に掲げる事業を行う。
(1) 大学の教育、研究及び施設設備の拡充
(2) 学生の就職斡旋活動に関する援助
(3) 大学と父母との連絡・会報の発行
(4) 学生の福利厚生・奨学金援助
(5) 学生の課外教育活動育成に必要な事業・援助
(6) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。
正会員 中部大学学生の父母
賛助会員 本会の趣旨に賛助する者
- 第6条 本会に次の役員をおく。
会長 1名 / 副会長 2名 / 幹事 各学科若干名
監査 3名 / 顧問 若干名
- 第7条 会長、監査は評議員会において会員のうちから選出する。
2 副会長、幹事は会員のうちから会長が委嘱する。
3 顧問は役員会の議を経て会長が委嘱する。
- 第8条 役員は任務は次のとおりとする。
会長は会務を総理し、本会を代表する。
副会長は会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代行する。
幹事は会長の指示を受け、会務を行う。
監査は本会の事業及び会計の監査にあたる。
顧問は本会の重要事項について会長の諮問に応じ又は助言する。
- 第9条 役員は任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。
2 役員は任期満了後でも、後任の役員が選出されるまでは、なおその職務を行う。
- 第10条 役員会は役員をもって組織し、会長が招集する。
2 役員会は次の事項を審議決定する。
(1) 事業計画に関する事項 (2) 予算に関する事項
(3) 決算に関する事項 (4) その他会長が必要と認める重要事項
3 役員会は役員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は出席者の過半数によって決定する。

- 第11条 本会に評議員会をおき、評議員をもって組織する。
2 評議員会は毎年1回会長が招集し、次の事項を取り扱うものとする。
(1) 事業計画の承認 (2) 予算、決算の承認
(3) 会長及び監査の選出 (4) 会則の改正
(5) その他役員会において重要と認める事項
3 臨時評議員会は、必要に応じて会長が招集する。
4 評議員会は、評議員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は過半数の同意によって決定する。
5 評議員会は会員のうちから別に定める定数基準によって会長が委嘱する。
6 評議員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 第12条 本会の経費は会費及び寄付金をもってあてる。
2 正会員の会費は50,000円とし、子女入学の際に納入する。
3 賛助会員の会費は、50,000円以上とし、入会の際に納入する。
- 第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 本会の事務局は、庶務、会計の事務にあたる。
- 第15条 本会に地方支部をおくことができる。

【附 則】

- (1) この会則は昭和42年4月13日から施行する。
(2) この会の運用について必要な細則は役員会において別に定める。
(3) 昭和43年 4月12日 一部改正
(4) 昭和45年 4月 8日 一部改正
(5) 昭和46年 4月 8日 一部改正
(6) 昭和48年 4月 8日 一部改正
(7) 昭和50年 4月 7日 一部改正
(8) 昭和50年12月20日 一部改正
(9) 昭和59年 4月 1日 一部改正
(10) 昭和61年 4月 1日 一部改正
(11) 昭和62年 4月 1日 一部改正
(12) 平成12年 5月27日 一部改正

ご父母の皆さまもぜひご利用ください。

多彩な設備を完備し、
教養を深める知的資産の提供や生涯学習などをおこなっている中部大学。
開かれた総合大学をぜひご利用ください。

附属三浦記念図書館

約800席の充実した各種閲覧室。

約55万冊を所蔵し、うち約20万冊を1階から3階に開架中。所蔵している資料の情報はデータベース化され、館内に設置された検索専用PCを利用して必要な資料を探すことができます。また、学内LANやインターネットを利用して、研究室や自習室、自宅からも資料の検索も可能。平日の開館時間(学期中)は9時から21時まで。春日井近隣に在住・在勤の方は、カウンターで「館外貸出申請書」に必要事項を記入することで図書を借りることもできます。



新穂高山荘

四季折々の魅力を満喫できます。

新穂高山荘は、新穂高温泉郷のほぼ中央に位置する絶好のロケーションが魅力です。スケールの大きい雄大な山岳美と新緑・紅葉の美しさは、まさに自然の宝庫。溪流にそった16,000m²の敷地には、フレッシュマンキャンプやゼミ、クラブの合宿などに利用される山荘本館、家族での利用に適した山荘別館、さらに24時間利用可能な石造りの露天風呂を備えた温泉施設もあり、学生、教職員、卒業生とご家族の厚生施設として利用されています。



中部大学音楽祭

年に一度のチャリティーコンサート。

毎年チャリティーコンサートとして開催している中部大学音楽祭。第6回目を数えた2009年度は、三井住友海上しらかわホールでおこなわれました。本学の5つの音楽系クラブが日頃の練習の成果を披露。休憩を挟んで、ジョン ギャスライト教授とラムゼイ・パイプバンドによるバグパイプの演奏もおこなわれました。次回の音楽祭は、平成23年1月8日(土)に名古屋市公会堂で開催の予定です。詳細は、決定次第ホームページで公開いたします。



オープンカレッジ

社会人を対象に大学の講義を開放。

地域の皆さまに大学の講義をオープンカレッジとして開放しています。その数、約160科目。高校を卒業されている方ならどなたでも聴講可能。週1回、同じ曜日と時間で、半年でも1年でも、2年でもご都合に合わせて続けることができます。学生食堂や図書館、駐車場、スクールバスも利用できます。
※開講科目は中部大学HPをご覧ください。

申込期間 平成22年8月20日(金)ガイダンス終了後～8月26日(木)

申込書類 大学で定めた用紙・卒業証明書
(ホームページから資料請求できます)

聴講料 1科目10,000円
(後援会会員とその配偶者の方は5,000円となります)

登録料 5,000円(初回のみ)
※後援会会員の方は無料となります

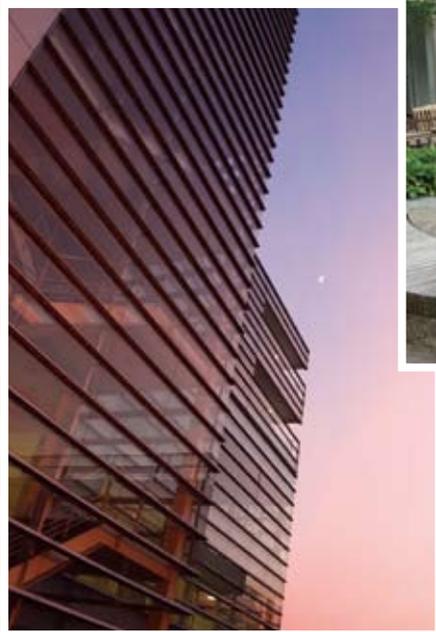
お問い合わせ先 **TEL.0568-51-4392(直通)**
FAX.0568-51-3166

MY CAMPUS LIFE



夢と可能性に満ちたキャンパスで
出会い、集い、学び、笑い、育む。
ここで過ごした時間が、未来をつくる。





NEWS & TOPICS

生命健康科学部第一期生 国家試験合格率100%を達成

今年の3月26日に、第99回看護師国家試験の合格発表があり、保健看護学科の受験者75人全員が合格しました。また、3月31日には第56回臨床検査技師国家試験の合格発表があり、こちらも生命医科学科の受験者16人全員が合格し、どちらも合格率100%を達成しました。この合格の背景には、先生方の献身的な努力と学生の自主的な努力があったことを忘れてはなりません。保健看護学科では、本試験を1ヵ月後に控えた1月の



模擬試験においても、10人以上の学生が合格圏内に入っていませんでしたが、学部の教員が一丸となり、夜遅くまで個人指導をおこなうなど、特訓に特訓を重ねました。また、生命医科学科でも、臨床検査技師の実像、仕事の性格やその将来像について教員たちが学生へ一生懸命説明するなど、学生のモチベーションを高めることにも努めました。臨床検査技師の国家試験は医療系の国家試験の中では難しい部類とされていますが、特に今年の合格率は7年ぶりに7割を切る難関でありながらも、見事受験者全員が合格という結果を出すことができました。

第99回
看護師国家試験合格率

合格率

100%

全国平均 89.5%

第56回
臨床検査技師国家試験

合格率

100%

全国平均 67.8%

2011年4月、新たに2つの学科が誕生します。

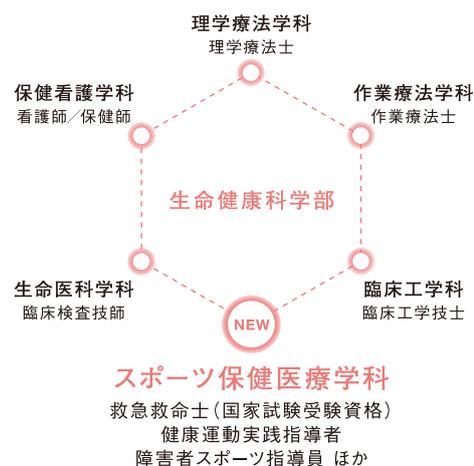
スポーツを活用する保健医療の専門家を育成
生命健康科学部に

「スポーツ保健医療学科」が誕生

生活習慣病やメタボリック症候群の予防は、現代日本の重要課題です。水泳・ジョギング・エアロビクス・各種レクリエーションなどの健康運動を活用して生活習慣を是正し、病気の予防や健康増進を図ることのできる人材が求められています。2011年4月開設予定の「スポーツ保健医療学科」では、健康運動を的確に処方し、安全かつ効果的な実施を指導できる専門家の育成を目指すとともに、保健・医療・福祉施設などで活躍する人材を育成します。また、スポーツで培った体力と医学の基礎知識で救急医療や災害医療にも貢献できる救急救命士を目指します。

獲得をめざす能力	健康運動を安全かつ効果的に指導する能力
	対象者の健康状態に合わせた運動を処方する能力
	万一の事故の際にも適切に対応できる能力
	救急患者に対する救命救急処置がおこなえる能力
	保健・医療・福祉スタッフと連携できる能力

■期待される進路



企業を、世界を動かす、会計のスペシャリストへ 経営情報学部に 「経営会計学科」が誕生

企業活動に健全性、透明性が求められるなど、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、「経営」「情報」の知識を持つ「会計に強い人材」に対するニーズが高まっています。2011年4月に開設予定の経営会計学科では、社会で必要な一般教養を身につけるとともに、会計に重点を置きながら、「経営」「情報」「会計」と「経済」「法律」の専門知識を学び、幅広いフィールドで活躍できる人材を育成します。



■卒業後の進路

会計の専門知識に加え、経営・情報分野に通じた人材に対して、業種を問わず企業からの期待は高まっています。

- 1 財務諸表の作成や企業経営に役立つ会計情報の整備など、会計専門職に従事する人材
公認会計士(CPA)、税理士、国税専門官、会計参与、企業経理担当職等
- 2 会計学に関する基本的な理解を身につけ、その知識を活用しながら企業活動のさまざまな分野で活躍する人材
会計の知識に加え、経営・情報分野を理解して活躍する多様なビジネスパーソン等
- 3 経営に関する基本的な理解を身につけ、行政や各種専門機関の立場から、会計情報に携わる専門家
税務署等公務員、商工会議所等の職業指導関連に従事する専門家等

Campus Map

- ① 1号館〈本部棟／事務室／教務部／学生部〉
- ② 2号館〈事務室／研究室／講義室／ゼミ室／キャリアセンター／渉外部〉
- ③ 3号館〈生産技術開発センター／分析計測施設／実験室〉
- ④ 5号館〈研究室／実験室／ゼミ室〉
- ⑤ 新5号館〈メディア教育センター／実験室／講義室〉
- ⑥ 6号館〈研究室／講義室／実験室／ゼミ室〉
- ⑦ 7号館〈工学センター棟／工学部事務室／研究室／ゼミ室〉
- ⑧ 8号館〈CAD教育施設／実験室／実習室〉
- ⑨ 9号館〈保健管理室／講義室／研究室／学生ラウンジ／エクステンションセンター／学習支援室〉
- ⑩ 10号館〈コンピュータコンサルテーションセンター／講義室／ゼミ室／学生ラウンジ〉
- ⑪ 11号館〈研究室／実験室／講義室〉
- ⑮ 15号館〈講義室〉
- ⑯ 16号館〈総合研究センター〉
- ⑰ 17号館〈研究室／実験室〉
- ⑱ 18号館〈材料構造実験施設〉
- ⑲ 19号館〈語学センター／建築製図室／第2学生ホール／講義室／学生ラウンジ〉
- ⑳ 20号館〈国際関係学部事務室／研究室／ゼミ室／学生ラウンジ／国際交流センター／留学生別科〉
- ㉑ 21号館〈経営情報学部事務室／研究室／講義室／ゼミ室／学生ホール〉
- ㉒ 22号館〈講義室／学術情報センター〉
- ㉔ 24号館〈学術情報センター〉
- ㉕ 25号館〈人文学部事務室／講義室〉
- ㉖ 26号館〈研究室／ゼミ室〉
- ㉗ 27号館〈メディア教育センター・スタジオ／講義室〉
- ㉘ 28号館〈講義室／実験室〉
- ㉙ 29号館〈クラブサークルプラザ／体育・文化センター事務室〉
- ㉚ 30号館〈応用生物学部事務室／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉛ 31号館〈研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉜ 32号館〈実験室〉
- ㉝ 33号館〈研究室／実験室／実習室〉
- ㉞ 36号館〈土木製図室／実験室〉
- ⑤① 50号館〈生命健康科学部事務室／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ⑤② 51号館〈講義室／ゼミ室／実習室／学生ホール〉
- ⑤③ 53号館〈実験動物教育研究センター〉
- ⑤⑤ 55号館〈講義室／研究室／実験室／実習室〉
- ⑦① 70号館〈現代教育学部事務室／研究室／ゼミ室／講義室〉
- ⑦② 71号館〈講義室／実習室／器楽演奏室／多目的室〉
- ⑦③ 72号館〈講義室／管理栄養実習室〉



- A 三浦幸平メモリアルホール
- G 体育・文化センター
- M 女子留学生寮
- S 武道館
- B キャンパスプラザ
- H 体育館・講堂
- N 職員宿舎
- T 第3学生ホール
- C 第1学生ホール
- I サブアリーナ
- O 三幸橋
- U フロンティア研究棟
- D 附属三浦記念図書館
- J 高電圧実験室
- P 弓道場
- V 温室棟
- E リサーチセンター
- K 学生寮／留学生寮
- Q 洞雲亭／工法庵／燭桐軒
- W リサ農園
- F 創立者胸像
- L 留学生寮
- R 野外ステージ

テレフォンガイド 中部大学／代表番号 0568-51-1111

お問い合わせ内容		担当部署
後援会について	●「父母との集い」	▶ 後援会事務局(渉外部) 0568-51-4745(直通)
成績・学業に関すること	●試験・各種証明書(成績・在学・卒業・卒業見込) ●教職課程 ●その他、就学上の相談	▶ 教務課
学生生活について	●休学・退学、住所変更等 ●奨学金 ●アルバイト ●下宿 ●クラブ活動	▶ 学生課
就職について	●資格取得講座 ●インターンシップ	▶ 学生相談室 0568-52-0381(直通)
学費・その他の納付金について		▶ キャリアセンター 0568-51-4184(直通)
入学試験について		▶ 会計課
国際交流(留学)について		▶ 広報課 入試課 ※入試情報ホットライン 0120-873941(直通)
生涯学習に関すること	●公開講座 ●オープンカレッジ ●アカデミックレクチャー	▶ 国際交流センター
中部大学音楽祭・キャンパスコンサートについて		▶ エクステンションセンター 0568-51-4392(直通)
		▶ 渉外部

中部大学ホームページもご利用ください。 <http://www.chubu.ac.jp/>

住所変更について

住居移転、町名変更などによって住所に変更があった場合、学生課への届け出が必要となります。お手数ですが、ご子息・ご息女に学生課までお越しくださるようご連絡をお願いいたします。

中部大学後援会就職活動援助

後援会では、資格取得講座、就職対策講座の受講料・受験料の補助をしております。ご子息・ご息女の就職活動のスキルアップや将来設計に、ぜひ受講をおすすめください。